

事業概要：多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業

旧制度（推進）

申請者	山口県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	771,622千円 (120,574千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	テレワーカーやワーケーターを交流人口として都市圏等から誘客し域内外の人や地域経済の循環を活性化 テレワーカー・ワーケーターと継続的なつながりを深めて、関係性の濃い関係人口へと深化 都市部等から本県へのテレワーク移住等を多く実現させ、生産年齢人口の本県への還流・定着 本事業の取組により生まれた地方への「ひと」の流れを中山間地域にも取り込み、地域の担い手を増加		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県外居住者が仕事を辞める事なく本県に長期滞在するなど、デジタル技術を活用した「転職なき移住」の最先進県を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○テレワーク移住・ワーケーションの一体的推進拠点の整備 ・やまぐち創生テレワークの全県展開・定着に向けた拠点施設の運営他 71,508千円 ○都市部への一体的 P R・一元的窓口機能強化 ・都市部に対するテレワーク・ワーケーションの P R 他 18,956千円 ○地域資源を活かしたワーケーションプログラムの開発・商品化 ・ワーケーションプログラム開発、商品造成他 600千円 ○テレワーク移住・ワーケーション受入に向けた地域の体制の整備 ・デジタル・I C Tを活用した地域づくりへの支援他 29,510千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じたテレワーク移住者数（+139人） ②県のテレワーク・ワーケーション拠点施設における県外からの利用者数（+15,320人） ③「やまぐち創生テレワーク」ネットワーク加入施設（+17施設）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/sos-hiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/sos-hiki/19/318600.html

※山口県、宇部市、山口市、岩国市、長門市、周南市の広域連携事業

事業概要： 脱炭素社会においても「選ばれる企業」&「稼ぐ企業」創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山口県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	406,003千円 (136,125 千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・ 県内中小企業の自立的・積極的な脱炭素化への取組を促進することで、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減を実現するとともに、県内中小企業の持続的な経営を実現 ・ 脱炭素の流れを新たなビジネスチャンスと捉え、脱炭素化関連の新たな技術開発等の促進により、県内企業のさらなる競争力向上を実現		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 脱炭素化に向けたコーディネート配置等支援体制の構築や先行事例の解説講演、脱炭素化関連製品の販路開拓支援、脱炭素化関連の研究開発支援により、今後も選ばれる企業となり、脱炭素を契機とした事業展開を後押しする。	選ばれる企業 × 稼ぐ企業 ～CO₂排出量の削減～ ・ 脱炭素化の普及啓発 ・ モデル企業の創出 ～新たな挑戦への支援～ ・ 販路開拓支援 ・ 脱炭素化関連技術開発の支援 2050年CNを原動力とした 本県産業の成長・発展	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ 脱炭素化に向けた普及啓発・取組支援 30,786千円 先行事例を県内に波及するための講演等を開催し、生産性向上に継続的に取り組むために必要な人材を育成する研修を実施する。 ・ 脱炭素化関連製品の販路開拓支援 31,981千円 ニーズ発信会の開催や脱炭素化関連製品の販路開拓を支援する。 ・ 脱炭素化関連技術開発の推進 73,358千円 脱炭素化を契機とした新技術・新製品開発の支援を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+30人) ②県内中小企業の脱炭素分野への参画数 (+6社) ③脱炭素関連の新技術・新製品開発件数 (+6件) ④脱炭素関連製品の新規商談件数 (+300件)		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：半導体・蓄電池産業集積強化事業

旧制度（推進）

申請者	山口県、下関市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	499,892千円 （182,130 千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・魅力ある雇用の場の創出に取り組んでいくため、今後成長が見込まれる分野であり、また山口県が高いポテンシャル・優位性を有する半導体・蓄電池関連産業の集積を強化していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 今後も成長が見込まれる半導体・蓄電池分野について、研究開発や事業化の促進や、国内外への販路拡大を通じた山口県への関連産業の集積強化を目指すとともに、半導体・蓄電池産業に人材を継続的に輩出していける体制づくりを推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・イノベーション促進補助金による支援（補助金）100,000千円 県内中小企業を含む研究開発グループへの支援 ・台湾の半導体メーカーと県内企業との交流・連携強化（委託料）22,230千円 台湾・県双方での企業見学会や商談会の実施 ・人材確保・育成プログラムの実践（委託料）12,000千円 企業・高等教育機関が連携して実施するプログラムへの取組支援		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+90人） ②半導体・蓄電池関連分野の新規事業化件数（+6件） ③事業で支援した下関市内における新規契約件数（+15件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

※山口県、山口県下関市の広域連携事業

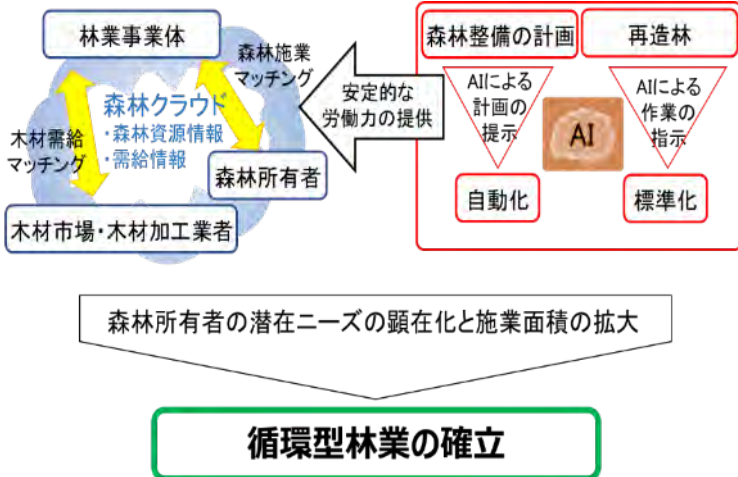
事業概要：やまぐち農林水産業の魅力ある雇用の場創出事業

旧制度（推進）

申請者	山口県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	491,885千円 (144,805千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	山口県の農林水産業が働く者にとって魅力ある産業となるよう取組を進め、人材の県外への流出抑制対策を図る。 農林水産業を営む経営体の収益改善を進め、働く者が安定して働ける環境（経営体）づくりを図る。 経営基盤のある他産業企業の参入促進を図る。 山口県農林水産業の魅力発進を強化し、必要な人材確保を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農林漁業の各分野における経営体収益改善・人材確保を図る		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・遊休資産を活用した規模拡大や新規参入促進 46,482千円 ・加工用米等の需要のある水稻の作付拡大 10,800千円 ・労働力不足を補う農業サービス事業体の育成 11,825千円 ・フォレストJ V（協業）による経営体の収益改善 6,874千円 ・生産性向上を図る新たな研修の実施 11,156千円 ・異業種企業等の林業への参入支援 22,248千円 ・林業の魅力発信強化と人材の定着支援 7,126千円 ・水揚げした魚を活用した経営体の収益改善 7,518千円 ・漁業の魅力発信強化と人材の定着支援 20,776千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産就労者数（+660人） ②中核経営体の新規育成数（+50経営体） ③中核経営体の収益性向上の取組件数（+87件） ④新規参入企業の件数（+7件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：やまぐち発林業DX推進事業 ～イノベーションによる循環型林業の確立～

旧制度（推進）

申請者	山口県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	151,139千円 (35,166千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	森林所有者や木材関係者等の情報共有を通じたマッチング促進と、複数工程での熟練技能の誰でも化による労働力の確保により、林業の担い手が減少する中であっても、森林所有者の潜在ニーズを顕在化し、施業面積及び収益の拡大を図ることで「循環型林業」を確立する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ① 森林整備計画自動作成自動化システムの機能強化 ② 森林クラウドの本格運用、機能強化及びAPI連携		
	【R8年度事業 経費内訳】 ① ヒアリング調査・機能強化業務(委託料) 24,385千円 協議会開催(旅費・報償費等) 555千円 ② クラウド機能強化業務 10,226千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産出荷額(+18億8千万円) ②山口県産木材供給量 (+17.30万m3) ③当事業により開発したシステムを利用した造林・下刈・間伐面積 (+600ha) ④当事業により開発したシステムの主要林業事業体の導入率 (+100%)	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

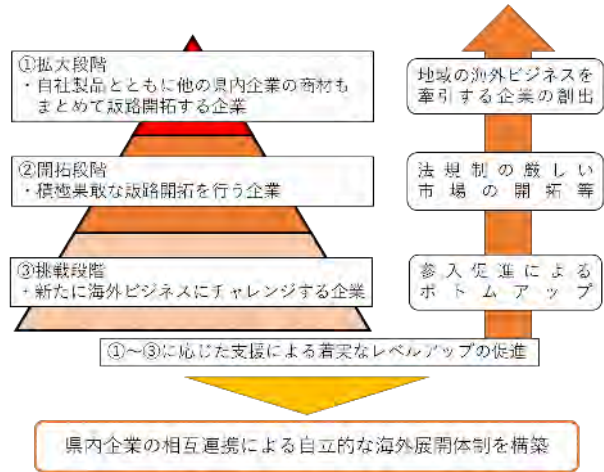
事業概要：「地域×先端的研究開発×企業」による魅力ある成長産業創出事業

旧制度（推進）

申請者	山口県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	498,472千円 (186,654千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	先端的分野（水中ロボット、衛星データ、医療、デジタル等）における研究開発を核とした、 ①企業や大学、行政等地域の多種多様な関係機関が参画する波及効果の大きいプロジェクトの創出・推進 ②県内市町の主体性を発揮した独自性のある施策推進 により、地域特性を活かした成長産業の創出と地域経済の活性化を図り、魅力的な新たな雇用の場を創出		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 専門人材を産業支援拠点に配置することにより、市町と連携して多様な関係機関が参画する波及効果の大きい研究開発プロジェクトを創出、推進する。また、補助金により、県内企業が実施する先端分野の研究開発等を促進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・専門人材の配置（委託料）37,078千円 ・ニーズシーズ発表会等の開催（委託料）4,576千円 ニーズシーズの発掘、マッチング等を行える専門人材を配置する。 ・研究開発の補助（補助金）140,000千円 医療・衛星データ活用・先端的デジタル分野における県内企業の研究開発を促進する。 ・市町による主体的なプロジェクト創出（委託料）5,000千円 県内市町と連携した地域特性を生かした取組を推進する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+9人） ②本取組によるコンソーシアム組成件数（+6件） ③本取組によるプロジェクト創出件数（+30件） ④本取組と連携する市町数（+3市町）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

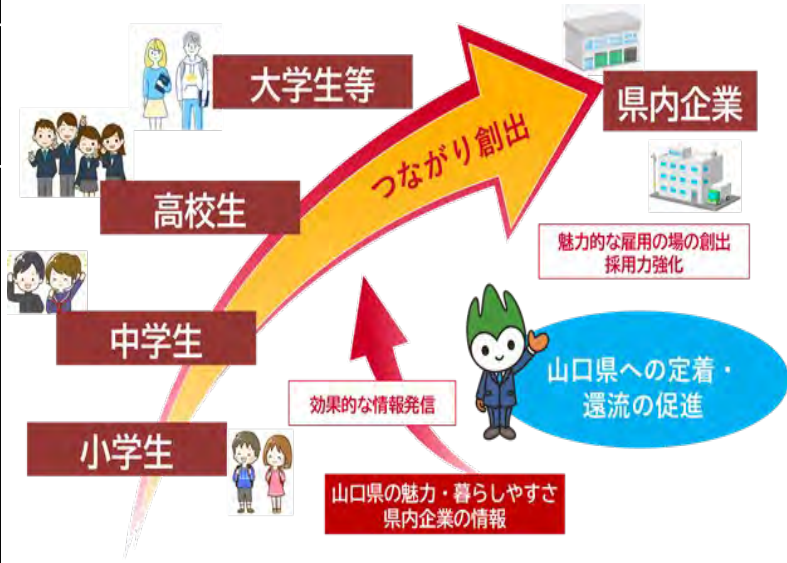
事業概要：中小企業の“攻めと守りの経営”支援による地域経済活性化事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	435,687千円 (151,229千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	【積極果敢な“攻め”の取組】 海外市場のニーズ等を的確に捉えた製品等のブラッシュアップを支援し、製品等の訴求力を向上 戦略的な海外展開を支援する補助制度により、海外ビジネスをレベルアップ 【事業・地域を次代に継承する“守り”の取組】 円滑な事業承継の促進による後継者不在率の改善、事業承継を契機とした成長を支援 「ローカルゼブラ企業」等多様な起業を支援し、社会課題の解決等地域活性化						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旺盛な海外需要を取り込むため、海外ビジネスの戦略的な取組を支援する。 また、円滑な事業承継や多様な起業を促進するための環境整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○積極的な事業展開への支援 ・バイヤー等招聘商談会の開催、専門家の伴走支援等（委託料）27,900千円 ・取組レベルに応じた経費助成等（委託料）38,025千円 ・本県企業の強みを活かした分野に係る専門家派遣等（委託料等）18,000千円 ○事業承継及び起業に係る課題への対応 ・巡回事業所訪問によるプッシュ型事業承継支援(委託料、交通費等)28,484千円 ・後継者の資質向上プログラム（委託料）10,000千円 ・ローカルゼブラ企業の育成（委託料、謝金）14,820千円 ・相談体制の強化（補助金）14,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海外展開個別成約件数（+30件） ②成約件数に占める継続取引の割合（+15%） ③後継者不在率の改善（+12%） ④事業を通じた起業者数（+90人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：若者と山口をつなぐ魅力発信・人材定着還流促進事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	449,746千円 (137,490千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大学進学前から県内企業とのつながりを創出し、将来的な県内就職や県外大学進学後のUターン就職につなげるとともに、若者に本県の魅力や県内企業についての情報を積極的に発信することで、社会減の続く若者の定着・還流を目指す。 県内大学から輩出されるデジタル人材の活躍の場を創出し、県内就職を促進することで、若者の県内への定着を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大学生等を対象とした本県の魅力発信や県内就職促進に向けた取組、大学進学前の県内企業とのつながり創出等により若者の県内定着を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○大学生等を対象とした魅力発信・県内就職促進事業 ・近隣県向けキャリアコンサルタントの配置（委託料）10,512千円 ・デジタルマーケティングの手法を活用した情報発信（委託料）20,990千円 ・中小企業向け採用力強化セミナーの開催（委託料）7,000千円 ・「暮らしやすさ」PR動画の制作（委託料）22,155千円 ・ショート動画による魅力情報の発信（委託料）23,386千円 ○デジタル人材県内就職促進事業 ・県外IT企業の誘致イベントの実施等（委託料）17,318千円 ・IT関連企業の立地促進に向けた助成（補助金）16,364千円 ・県内IT企業等のプラットフォーム運営（委託料）1,100千円 ・大学・学生と企業との交流イベントの開催（委託料）2,303千円 ○大学進学前の県内企業つながり創出事業 ・高校生向け企業協働探究学習プログラムの実施（委託料）8,324千円 ・中学生向けお仕事体験トラベルの実施（委託料）6,000千円 ・小学生向けこどもシゴト博の実施（会場費、活動経費）2,038千円						
主なKPI	①県外人材の県内就職者数（+45人） ②新規大卒者の県内就職内定比率（+3.6%） ③県内大学情報系学部等に係る新規大卒者の県内就職内定比率（+30%） ④高校生等の県内就職割合（+7.2%） ⑤IT関連企業の県内誘致件数（+21件） ⑥県公式SNSのフォロワー数（+29,657人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：食料安全保障に貢献するやまぐち農水産業の生産性向上事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	539,390千円 (175,736千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	農業や漁業経営体の減少や気候変動などの生産リスク増大により食料生産が不安定化する中、経営体の経営基盤強化やデータを活用した生産性向上を進めることにより、県民生活に不可欠な食料の安定供給体制の強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農業・漁業分野において、経営体の経営基盤強化対策及びデータを活用した生産性向上対策を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○農業分野 ・アドバイザーや専門家による経営体の伴走支援 23,020千円 ・経営体の再編・統合や企業参入の促進 46,706千円 ・加工品開発による経営基盤強化 15,800千円 ・現地実証等による技術の普及 62,435千円 ・専門家による人材の育成 5,296千円 ○漁業分野 ・現地実証等による技術の普及 21,985千円 ・専門家による人材の育成 494千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産性が向上した農業・漁業経営体数（+120経営体） ②生産性向上の新規実証取組件数（+40件） ③食料生産を支える農業・漁業の新規就業者数（+540人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：やまぐち発！竹資源の循環利用促進を通じた竹産業の創出

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	166,263千円 (63,160千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本県独自の「竹林経営計画制度」の構築や、「竹市場」の開設など新たな竹材流通の仕組みづくりにより、竹を産業資源として活用した「山口型竹産業」を創出し、雇用の場の確保や地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 竹を産業資源として活用した「山口型竹産業」の創出に向け、竹材の安定供給、流通の仕組みづくり、新規参入の促進を図り、持続性が確保された、川上から川中、川下までの竹材流通の仕組みを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 竹材の安定供給 ・やまぐち竹林経営計画制度の構築に伴う事務費 144千円 ・竹林経営マスター研修会の開催（委託料） 1,270千円 ・簡易竹材運搬車等現場実証等（委託料） 5,424千円 ・実証に係る資材準備、試験地調整 264千円 流通の仕組みづくり ・「竹市場」の運営費（委託料） 28,724千円 ・竹資源情報システム「竹クラウド」の開発(委託料) 24,332千円 新規参入促進 ・企業間の交流・マッチングの促進（委託料） 3,002千円						
主なKPI	①県産竹材産出額（+44百万円） ②やまぐち竹林経営マスターの認定者数(+71者) ③県産竹材供給量（+1,500t） ④竹市場等の取引件数（+300件） ⑤交流会等の参加人数（+100者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：旅先が第2のふるさとになる！「観光×移住」促進事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	717,918千円 (247,502千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタルプロモーションを展開し、地域をあげて創出した“オーセンティックな”体験コンテンツや県内周遊コンテンツをPRすることで、若者や女性をはじめとした本県の観光客数や宿泊者数の増加を目指す。 ・観光客の頻繁な来県を促すため、第2のふるさとづくりプロジェクトの取組を支援し、観光客から関係人口へ、関係人口から移住・定住人口へとステージを引き上げ、関係人口登録者数と移住者数の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光と移住とで連携を図り、観光から始まり地域との関りを深め、最終的には移住へとつながる一貫した事業体系を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルプロモーション関連事業 95,000千円 ・デジタルプロモーション事業 ・個人観光客向けOTAプロモーション ○観光×移住のやまぐちワンストップ相談拠点整備事業 35,810千円 ○オーセンティックな“体験コンテンツ創出・県内周遊促進事業 96,032千円 ・歴史・文化を巡るコンテンツ提供 ・第2のふるさとづくりプロジェクト支援事業 など ○地域の受け皿づくり 20,660千円 ・地域向上力支援事業 ・サードプレイス構築促進						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「ＹＹ！ターン」実績数（移住者数）（+600人） ②観光客数（+4,481千人） ③宿泊者数（+1,411千人） ④関係人口登録者数（+900人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

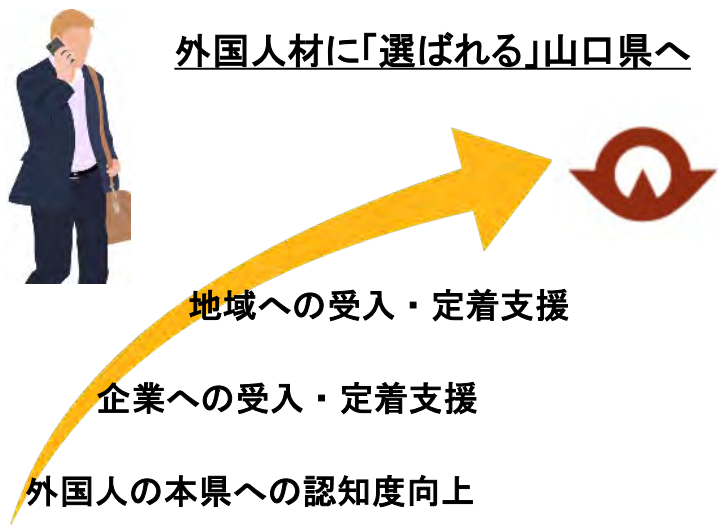
事業概要：AI技術で拓く地域産業の新時代と次世代の人材育成事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	698,000千円 (228,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域内の中小企業等に対して、AI技術等を活用した業務変革を進めるとともに、AI技術等の専門的な知識と実践力を持つ人材を地域内で育成・確保することで、中小企業等の“稼ぐ力”を高めながら付加価値を創出し、地域経済を持続的に活性化させる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「①新たに包括的な支援体制を構築し地域産業を支える中小企業等に対し業務変革を促進すること」、「②AI技術等の技術革新による新たなニーズに対応したセミナー等を実施し、地域内で次世代人材を育成すること」の2つを柱として、AI技術等の導入や活用を一体的に支援する取組である。こうした支援を通じて、企業のAI技術等の活用が飛躍的に進み、「稼ぐ力」を発揮できる体制が整うとともに、それを担う人材が地元に着定することで、地域全体のデジタルシフトが加速し、新規ビジネスの創出や雇用拡大など地方経済の活性化につなげる。					高度専門人材による 業務変革の支援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新たな包括支援体制によるAI技術等の業務変革支援 (コンサルティング支援) ・高度専門人材の配置など運営にかかる経費(補助金) 126,772千円 ・クラウド・BIツール等を活用できる環境整備にかかる経費(補助金) 46,101千円 ○業務革新に対応した次世代人材の育成 (研修や実践の場の提供) ・研修の企画・運営にかかる経費(補助金) 27,400千円 ・地域課題等に取り組む活動機会の提供にかかる経費(補助金) 19,727千円					AI技術等の活用に必要な 知識や技能を習得する 研修や実践の場の提供	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①AI技術等を活用した新サービス創出や業務効率化を行った企業数(+70件) ②AI技術等に係る相談件数(+110件) ③AI人材の育成人数(+240人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html (効果検証) https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	102,525千円 (33,796千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内企業の人手不足が深刻化する中、企業や地域において、外国人材が活躍できる環境を整備し、外国人材から「選ばれる山口県」を目指す。 ・外国人材の確保・定着により、地域経済の担い手を確保するとともに、地域の生活環境を守っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業支援、地域定着促進、認知度向上を柱とする総合的な取組により、外国人材の確保・定着を進め、人手不足の解消と地域経済・生活環境の維持を目指す。					 外国人材に「選ばれる」山口県へ 地域への受入・定着支援 企業への受入・定着支援 外国人の本県への認知度向上	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○外国人材の確保・定着に向けた企業への受入・定着支援 ・産官学からなる協議会の運営と支援 13,947千円 ・監理団体向け日本語学習支援等 1,747千円 ・バス・タクシー運転士の採用に向けた研修会の実施 1,500千円 ○外国人材の地域定着促進 ・連携体制の構築等 2,527千円 ・国際活動団体の実施する外国人と地域との交流活動を支援 2,500千円 ・国際交流フェスタの開催 4,000千円 ○大型イベントを契機とした認知度向上 ・メディアを活用したプロモーション 2,000千円 ・交通拠点等でのPR 575千円 ・交通事業者と連携したプロモーション 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内企業の外国人労働者数（+2,804人） ②外国人材雇用アドバイザー相談件数（年間）（+143件） ③日常生活で外国人と関わりたいと思う県民の割合（+9.5%） ④外国人運転士受入環境整備に関するセミナーに参加した事業者のうち、セミナー内容に満足したと回答した事業者の割合（+70%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：学びと交流、共創で未来の林業を創造する森林・林業振興拠点の整備事業

継続

申請者	山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,130,259千円 (460,489千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	森林や林業について思考・探求・創造する「学習機能」、及び林業関係者等の連携した取組により付加価値を創出する「共創機能」を持つ中核施設と、周辺の森を実証フィールドとして観察・実験等を行う空中歩道（キャノピーウォーク）を、森林・林業振興拠点として一体的に整備し、次代の林業の担い手の育成と本県林業・木材産業の一層の活性化・持続的発展を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 遊びながら学べる、森林学習・集客促進デジタルコンテンツ開発事業を実施。 新たな建築物の建築工事、電気設備工事、周辺整備工事を実施するとともに、キャノピーウォークの建設工事を実施。					整備後イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・森林学習・集客促進デジタルコンテンツの運用 運用・更新経費（委託料）：3,944千円 ○拠点整備事業 ・拠点施設、キャノピーウォークの整備 建築工事、電気設備工事、周辺整備工事 181,700千円 キャノピーウォーク工事、実施設計（昇降機）274,845千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内木材製造工場における製材品出荷量（+36千m ³ ） ②18～29歳の県内新規林業就業者数（+10人） ③県内林業関係高等学校入学定員充足率（+15%） ④やまぐち森林・林業未来維新館来場者数（+20,000人） ⑤アプリインストール数（+28,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

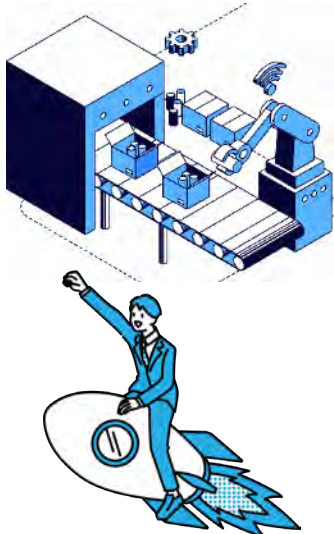
事業概要：農林水産物の安定供給を実現する外部環境変動リスク適応対策事業

新規

申請者	山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	452,116千円 (89,042千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・気候変動をはじめとする情勢変化、需要変動などの外部環境変動リスクに適応する技術の実装や体制構築に取り組み、農林水産物の安定供給の実現を目指す。 ・外部環境の変動リスクに耐えうる経営体の基盤強化により、農林水産物の取引拡大や雇用創出など地域経済の発展に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 気候変動に適応するため、高温耐性品種の導入や、環境変化に応じた栽培・飼育管理の確立、病害虫の発生予測、海洋環境の変化に適応する技術を開発し、現地実装する。また、需要変動に適応するため、県産農産物の需要に対応する物流体制や木材の需給調整体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・専門アドバイザーや企業と連携した研究体制構築 1,066千円 ・外部環境変動リスク適応技術の研究開発・実証 51,934千円 ・県産農産物の需要に対応する物流体制の構築 8,000千円 ・木材供給体制の構築 23,042千円 ・木材の品質向上に向けた経営基盤強化 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産分野における新規雇用増加率（+15%） ②新たな物流体制での県産農産物等の販売数量増加率（+5%） ③新たな木材需給調整体制による木材供給量（+14.4万㎡）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：地域経済「好循環」創出プロジェクト～DX・ロボティクスとスタートアップ共創による持続的成長～

新規

申請者	山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	778,752千円 (266,144千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域経済の成長の実現に向け、中小企業の生産性を向上させる「産業の強靱化」とスタートアップの創出・共創等の「新産業の創出」を車の両輪として推進し、人手不足対策と新たな付加価値の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DX・ロボティクスを活用した生産性向上の支援による産業の強靱化と、スタートアップ共創・成長支援による新産業の創出を一体的に推進する。					産業強靱化に向け、 DX・ロボ活用の投資モデル構築と地域波及を促進 新産業創出に向け、 共創支援と地域基盤維持、次世代育成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中小企業のDX推進に向けた経営課題診断（委託料）7,031千円 ・中小企業のデジタル化支援（補助金）98,675千円 ・中小企業のDX推進・ロボット導入支援（補助金）70,500千円 ・中小企業のセキュリティ対策支援（委託料及び補助金）20,798千円 ・成長分野におけるスタートアップ創出・成長支援（委託料）23,953千円 ・地域企業等課題解決プロジェクト（委託料）12,341千円 ・スタートアップ地域エコシステムの強化（委託料）23,006千円 ・データ活用セミナー・広域ネットワーク構築支援（委託料）4,840千円 ・学びの実践トライアル経費（補助金）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業のDX推進・ロボット導入支援を受け、付加価値額年率3%以上の向上を達成する企業件数（+42社） ②中小企業のIoT導入率（+1.70%） ③J-Startup WEST等選定企業数（+4社） ④セミナーの参加エリア数（+24件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

事業概要：地域連携ふるさと人材育成・定着推進事業

新規

申請者	山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	443,244千円 (147,748千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・教育機関と地域・企業等の連携による人材育成を通じ、ふるさとへの愛着醸成及び専門技能人材・デジタル人材等、地場産業を支える人材の育成・確保を図る。 ・大学生・留学生等の県内就職・定着を促進し、若者の県外流出を抑制するとともに、企業の付加価値向上や将来の事業展開に資する人材基盤の強化、技能継承の維持・拡充、さらには安定的な産業人材の確保につながるものであり、地域経済の維持・拡大に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 小・中・高・大と地域・企業が連携した探究学習や職場体験等により地域を担う人材を育成する。併せて、大学生等の県内就職を促進するため、PBLの実施やインターンシップの推進、留学生向けの就職相談等を実施する。更に、技能者育成支援やシビックテックコミュニティ運営によるデジタル人材の育成により、地域産業人材の確保を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○小・中・高・大における地域と連携した人づくり促進事業 ・ふるさとへの誇りや愛着を持った「地域の創り手」の育成（委託料等）20,048千円 ・地域産業を支える人材の育成（委託料等）45,994千円 ○大学生等の県内定着促進事業 ・若者の県内定着につながる高等教育の推進（交付金）29,202千円 ・インターンシップの推進（委託料）31,484千円 ・留学生の県内定着促進（委託料）13,486千円 ○地域産業に根差した技能者育成支援事業 ・地域産業基盤を支える中堅技能者の育成支援（委託料）7,534千円						
主なKPI	①県内就職決定者数（+180人） ②県内大学生等の県内就職率（+3%） ③山口県インターンシップ推進協議会におけるマッチング数（+187人） ④外国人留学生の県内就職者数（+15人） ⑤産業界等と連携した学習活動を行っている県立高校の割合（+4.2%） ⑥地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（+29.8%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/11463.html （効果検証） https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：ホテル誘致を起爆剤とした官民協働でのエリア再生

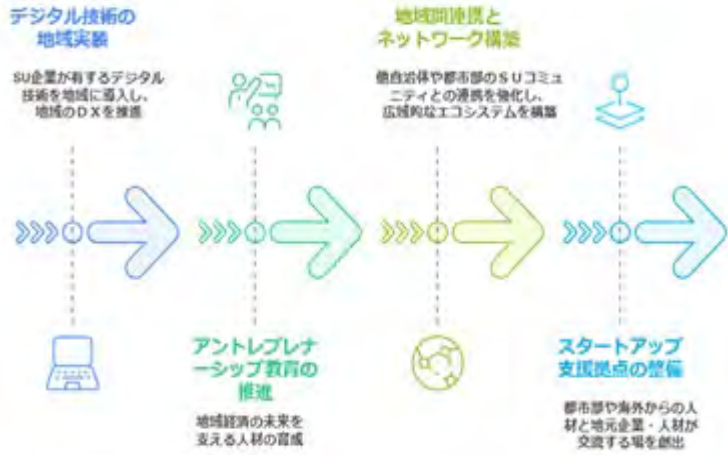
継続

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	307,000千円 (29,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	令和7年12月に開業したリゾナーレ下関を核に、未利用地の段階的活用と既存施設の連携をエリアマネジメント組織の自走体制で実装し、官民連携の一体運営を定着させることで、通過型から宿泊・体験滞在型への転換と夜間・広域回遊の拡大を図り、観光消費額の継続的増加と投資・雇用の誘発につなげる。ソフト事業の効果発現とホテル開業効果の波及・定着には時間を要するため、2年間の延長期間を「自走化への移行・定着期間」と位置づけ、質の高いプログラムの継続と収益化を進め、シビックプライドと都市ブランドを向上させ、人口流出の抑制に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和5～7年度に、社会実験の実践、データ分析、エリアマネジメント準備会の立ち上げにより、賑わいの土台を構築した。ソフト事業の効果定着には時間を要するため、令和8～9年度を「自走への移行・定着期間」とし、空間利活用の継続により、本エリアの賑わいを一過性のものから「日常」へと定着させつつ、事業の収益性を検証する。併せて、令和8年度に組織形態や負担ルールの合意形成を図り、令和9年度にエリアマネジメント組織を正式に組成して自立運営の基盤を固める。加えて、エリア内のプロモーション強化により地域内消費を最大化させ、シビックプライドと都市ブランドの確立を通じて、人口減少の抑制につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・推進体制の構築（委託料）18,000千円 調査分析業務、広報戦略業務、エリアマネジメント組織設立支援業務 ・社会実験の実費費用（負担金）7,685千円 ・同業務に関する会計年度任用職員（人件費）3,315千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①1日あたりの海峡エリアを訪れた人の人数（休日）（+41,500人） ②交付対象事業を通じ、新たに事業化された事業の数（+120件） ③②の事業件数に占める民間が事業主体となった事業の割合（+150%） ④ワークショップ、社会実験等への参加者数（+39,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

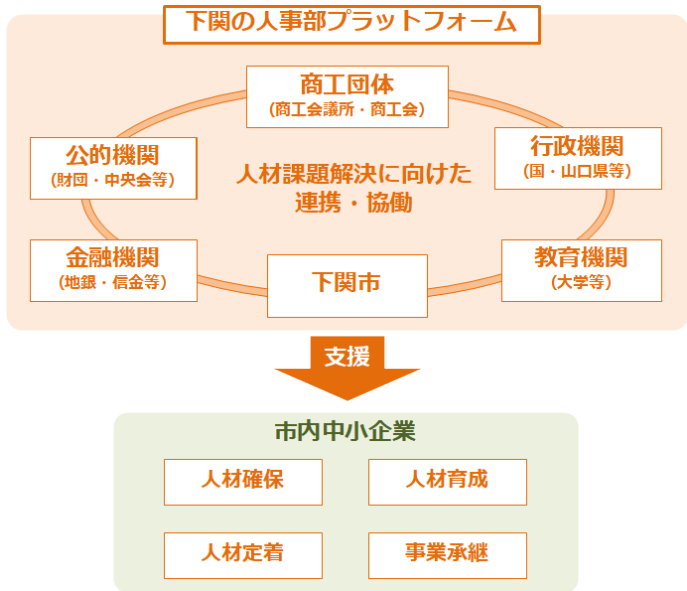
事業概要： 公民共創による持続可能な下関市移住モデル確立プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山口県下関市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	103,438千円 （35,896千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・民間と行政が協力しながら関係人口及び移住者の増加を図る「下関市移住モデル」を構築する ・移住希望者と地域を繋ぐプラットフォームにより定住や地域に活力を生み出す ・地域の課題解決に結びつく人材を獲得することにより、人口減少下においても活力あるまちを実現する ・地域の未利用財産を最大限に活かし、アクティブな人々の参加を通じたチャレンジを生む都市イメージを創出する		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公民連携により、民間がもつ「アイデア」「ノウハウ」「スキル」「知識」等を活用して、移住希望者の「知る」「相談する」「試す」「住む」の各フェーズに応じた事業を実施する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・公民共創型移住プロモーション創出業務 4,500千円 地域の若者世代が市内外のクリエイターと連携し、自治体プロモーションの発信コミュニティを創出する。 ・まちひとしごと交流プラットフォーム構築事業 28,000千円 移住希望者と地域をつなぎ、コミュニティの活性化、新たな分野での事業の開拓を行う。 公民共創による持続可能な下関市移住モデル確立プロジェクト 戦略的プロモーション 市内全域でのお試し居住 地域を共に創る人材の獲得 まちひとしごと交流プラットフォーム（移住者と地域をつなぎ活力を生み出す）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+230人） ②お試し居住利用者数（+90人） ③DXツールを活用した関係人口数（600人） ④移住相談件数・・・（2,700件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	134,060千円 (27,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域産業の活性化と持続可能な発展を目指し、デジタル技術やスタートアップ（以下「SU」とする。）企業の力を活用した地域課題の解決と産業革新を推進。 ・スタートアップ支援施策を核とし、地域産業とSU企業の協働と地域のデジタル化を促進するプラットフォームを整備						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・デジタル技術の地域実装 ・アントレプレナーシップ教育の推進 ・地域間連携とネットワーク構築 ・スタートアップ支援拠点整備 などに関する以下の経費内訳に示すような取組みを行う。					スタートアップ支援を核とした地域経済の活性化及びデジタル化 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○スタートアップ支援プロモーション及び自走組織設立準備（委託費13,360千円） ・全体ディレクション、ネットワーク及び情報提供 ・イベント実施、Web運用、自走組織に係る調査等 ○デジタル技術の地域実装（委託費3,000千円） ・課題整理分析、個別事業支援等 ○アントレプレナーシップ教育の推進（委託費3,740千円） ・大学生・高校生に対するプログラム実施等 ○地域間連携とネットワーク構築（委託費4,800千円） ・各種セミナー、マッチングイベント開催等 ○スタートアップ支援拠点整備（委託費2,500千円） ・拠点整備に係るコンセプト設計						
主なKPI	①地域における新規起業者数（+18件） ②スタートアップ支援コミュニティへの参加者数（+80人） ③スタートアップ企業と地域事業者の協働による売上向上企業数（+6件） ④地域外のSU企業誘致数（+7件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.htm

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,224千円 (10,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第3期総合戦略）に基づき、人口減少下でも地域の活力を維持するための観点として、①就業率の上昇、②生産性の向上に取り組む。 ・本事業は①②両方に該当し、中小企業の最重要課題である人材課題解決を強力に後押しするもの。市や地域関係機関の参画による下関の人事部プラットフォームを中核として、既存の枠組みを最大限活用し、事業承継を含む人材課題全般に対応するスキームを構築・活用することで、人口減少下においても、地域産業の強化、しごとの確保の促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市や金融機関、商工団体等の地域関係機関が連携を図り、人的資本経営を促進する体制「下関の人事部」の機能を構築する。中小企業が様々な環境変化に柔軟に対応し変革に挑戦していけるよう、企業が抱える事業承継を含む人材課題（人材確保・育成・定着）の解決を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○下関の人事部プラットフォーム構築支援事業（委託費3,000千円） ・地域の人事部協議会やワーキンググループ等の実施 ○中小企業への啓蒙・啓発支援事業（委託費6,000千円） ・人材確保相談支援の実施 ・副業人材活用・リスキリング支援 ・戦略的人材活用事例集作成 ○事業承継支援事業（委託費1,000千円） ・事業承継マッチングに向けた環境整備及び普及啓発等						
主なKPI	①生産性（+545千円/人） ②就業率（+2.60%） ③本事業の支援企業数（+240社）					URL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：道の駅「きくがわ」リニューアルによる菊川地域観光交流拠点再生プロジェクト

新規

申請者	山口県下関市、山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,155,272千円 (383,240千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の重要な観光交流拠点である道の駅「きくがわ」を「地方創生、観光を加速する拠点」となるべく、道の駅としての基本機能への刷新と高機能化を図り、来場客数の増加を起爆剤に地域の活性化に繋げる。 ・地域経済の拠点として、特産品販売エリアとレストランの拡充などの整備を行い、生産者の所得向上と地域経済の活性化により、地場産業の振興を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 特産品販売エリアやレストランを拡充するだけでなく、新たに子育て支援や防災機能を強化することで、多様なニーズに応える観光交流拠点に改修する。ソフト面では、道路や観光などの情報を発信するためのデジタルサイネージの整備や、地域周遊を促すイベントの開催や、道の駅の魅力を高める取組を実施する。さらに、山口県と連携して24時間利用可能な屋外トイレや屋根付き多目的駐車場などのインフラ整備も並行して実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・道の駅への周遊促進事業（委託料）4,000千円 ○拠点整備事業 ・リニューアル工事、工事関連経費（仮設店舗設置費等）349,240千円 ○インフラ整備事業 ・屋外トイレ工事 30,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①菊川地域の観光客数（+138,825人） ②道の駅「きくがわ」の出荷者数（+27事業者） ③地域における農林産物の出荷額（+4,304千円） ④道の駅「きくがわ」の総売上額（+118,958千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

事業概要：地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業

新規

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	323,400千円 (60,100千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	下関市の構造的課題である「低生産性(7,455千円/人)」と「投資の域外流出(224億円)」を、「下関版リノベーションまちづくり」の全市展開により解決します。公的なエリアマネジメント組織（まちづくり会社）の設立により、活用難であった中・大規模の公有不動産等を事業化し、投資の受け皿を創出。地場産業の付加価値向上や 地域資源を磨き上げる高付加価値型産業（スポーツ×農業、地域ブランド等）の創出と、中心部のコミュニティ再生を両立させ、持続可能な「経済的・社会的自立」を実現し、最終目標である「社会減ゼロ」を目指します。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、「稼げる経済(経済的自立)」「支え合う生活環境(社会的自立)」を専門的な知見で再編集(リノベーション)して高付加価値な仕事を生み出します。同時に、客観的な分析による効果検証と情報の見える化を推進することで、市民の参画意欲を高め、交付金終了後も地域主導で発展し続ける「下関モデル」を確立します						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・未利用財産調査・営業・マッチング業務（委託料）14,100千円 ・未利用財産改修費（委託料）20,000千円 ・ローカルテレワーク推進事業（委託料）3,000千円 ・地域コミュニティ再生業務（委託料）4,000千円 ・スポーツ×農業推進事業（委託料）3,000千円						
主なKPI	①生産性(市内就業者1人当たり総生産):(+700千円) ②本事業及び波及効果による雇用・就業者数:(+40人) ③社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合:(+4.0%) ④まちづくり会社が関与した不動産の再生・活用件数:(+9件) ⑤本事業及び波及効果による新規創業件数:(+31件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

事業概要：～至ふくの体験～下関「ふく」ブランド再構築と関門の恵み（地域資源）を活かした感動体験プロジェクト

新規

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	212,328千円 (26,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	下関が誇る「ふく」をメインとした食と観光の新たな地域振興施策として、本市でしか味わうことのできない商品や体験の提供及びPRまでのプロセスを有機的に結合し、下関の食を通じた地場産業の活性化、観光客の誘致、都市ブランドの向上を通じ、観光客の滞在時間の延長と消費額の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「ふく」をテーマにした体験プログラムや地域資源を用いた商品開発を行い、それらを通じてふくブランドを再構築するため、下関に来なければ体験することのできないコンテンツを創出する。また、夜間の滞在時間の延長を図るためのコンテンツにも注力した上で、SNSやウェブサイトによるPR活動を強化し、関係団体と連携しながら多様なメディアへの露出を図る。加えて、販路開拓支援等の事業を行うため、国内外の新たな地域へもプッシュ型の下関製品のPR事業や商談会を展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ナイトタイムエコノミー推進事業 ・賑やか夜間景観創出事業(補助金) 7,000千円 ○「下関ふく」競争力強化事業 ・観光・食文化の統合体験コンテンツ、SNSを活用したPR等(委託料) 8,000千円 ○下関「食」のブランド海外展開推進事業 ・アドバイザー・イベント開催(委託料) 9,750千円 ・販路開拓及びセミナー開催(報償費ほか) 1,250千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市における観光消費額 (+186.8億円) ②観光客数 (+2,300千人) ③宿泊客数 (+108千人) ④ターゲット地域を対象とした海外販路の成約件数 (+9件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

事業概要：自分らしく働ける職場づくりの地域展開プロジェクト

新規

申請者	山口県下関市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,000千円 (23,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の転出者の7割を占める若者の転出者数の抑制を図るため、市内企業に対し若者が求める自分らしく働ける職場づくりへの取組を促し、転出動機の主要因である「働く場所」の魅力向上につなげ、労働人口の確保による地域産業の持続的な発展と市民の暮らしの安定を目指す。 ・市内企業の働き方・職場改革等に向けた取組を強力に牽引する協議体を創設し、参画企業の率先した実践を通じて好取組事例の創出を図るとともに、市内企業への連鎖的な波及を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民調査の結果、本市からの転出動機は「働く場所」が主要因となっており、転出者の7割を占める若者は「自分らしく働ける職場」を求めている傾向が判明したため、市内企業に対し、多様な働き方や職場改革等による魅力的な職場づくりに向けた取組への意識啓発や有識者派遣等の伴走支援等を実施する。加えて、地域を牽引する地元企業や金融機関等が参画する協議体を創設し、参画企業間の課題共有や連携により実効性と汎用性を備えた好取組事例を創出するとともに、創出した好取組事例を市内企業に横展開し、地域内への波及を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・女性の活躍や仕事と育児の両立等に向けた職場環境づくりへの意識醸成を図る企業啓発セミナーの開催（委託料）3,000千円 ・働き方改革等に取り組む市内企業に対し、有識者の派遣等による伴走支援や若者との意見交換会開催による取組支援（委託料）15,000千円 ・市内企業の参考となる好取組事例の創出に向け、地域を牽引する地元企業と金融機関等による協議体の運営（委託料）5,000千円						
主なKPI	①若者(15歳から39歳)の転出者数（▲260人） ②事業を通じた取組参画企業数（+22社） ③セミナーの参加人数（+300人） ④働き方改革関連認定を取得した市内企業数（+11社）					URL	https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	山口県宇部市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	873,795千円 (227,163千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	高等教育機関等が有する研究シーズや市内外の事業者等有する技術シーズを活用した新しい成長産業の創出、デジタル化の促進による新事業への進出などにより企業の「稼ぐ力」を高めるとともに、若者にとって魅力のある新たな雇用を創出することを目指す。これにより市内企業で働きたいと考える若い世代を増やし、市内企業への定着・担い手確保を促進するだけでなく、イノベーションの可能性を広げ、更なる産業や雇用創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 成長産業の創出に向けて、研究開発シーズの事業化等へ向けた磨き上げを行うにあたって、シーズの各フェーズに応じた補助金による次の支援を実施する。加えて、「うべ産業共創イノベーションセンター志」を活動拠点とする「起業コミュニティ」を開設し、起業を目指す者への支援や研究開発シーズの発掘、研究者と地元企業のマッチングやプロジェクトの進捗支援などを担うコーディネーターを配置する。また、市内中小企業の新商品の開発、販路拡大及び人材確保等の支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・成長産業の創出への支援（補助金、委託料）159,720千円 ・イノベーションの創出による支援（補助金、委託料、光熱水費等）52,351千円 ・中小企業に対する支援（補助金、委託料）14,092千円 ・中小企業のビジネスモデルの見直しや行動計画の実践・フォローアップを行うなどの伴走支援（委託料）1,000千円						
主なKPI	①事業化支援プロジェクト等の起業・事業化件数（+7件） ②事業継続・事業承継に向けた取組数（+65件） ③新規雇用者数（+28人） ④地域イノベーション人材の地元就職者数（+3人） ⑤起業コミュニティへの年間参加者数（+100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/keikaku/chihousousei/index.html

事業概要：ワークライフバランス実現のための子育て中心のまちづくり

継続

申請者	山口県宇部市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	338,476千円 (40,757千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地方創生の鍵を握る若者世代や子育て世代から宇部市で子育てしたい、住み続けたいと思われる魅力ある地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 山口宇部空港内の大型遊具等を拠点とした子育て支援事業の実施や交流創出による子育て環境のさらなる充実を図る。また、地元企業への関心を高め、地元就職への意識の醸成を図るための地元企業の魅力が体験できる参加型職業体験イベントを開催する。加えて、SDGsや関連団体（JAXA等）と連携した特色ある教育を実施する。 小児救急医療体制の新たな体制構築に向けての調査研究と、乳幼児健診等についての効果検証を、大学等と連携して実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・キャリア教育・宇宙・天文教育開催事業（委託料、負担金）19,995千円 ・子どもの遊び場づくり（委託料、使用料）4,608千円 プレーカー・プレーパークの運営、ふれあい公園大型遊具の維持管理に要する費用 ・SDGsの推進（委託料、補助金）6,350千円 ・社会連携講座運営経費（委託料）9,180千円 小児救急医療の課題解決、新たな体制構築に向けての調査研究を実施						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者（20～39歳）の社会人口増（+79人） ②女性活躍推進企業の認証数（+141社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://city.ube.yamaguchi.jp

申請者	山口県宇部市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	198,610千円 (41,902千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・エビデンスに基づく農地の最適化や一次産品の地域内での消費に着目した食のブランドの再構築、次世代型の農業の推進、本市の一次産品の魅力発信などを通じて第一次産業従事者の所得向上を推進する。 また、農福連携、農業参入法人への支援など多様な形で労働力(就業機会)確保を目指す。これらにより、農林水産業で稼げるモデルケースを創出し、就業・雇用の増加につなげ、地域経済の好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 就農者が事業活動を継続できる環境を整えるため、就農やスキルアップに向けた支援制度やスマート農業促進のための農業用機器の導入補助制度の充実を図る。地域ブランドの創出による事業者の販売量・額の増大を図るとともに、認証制度による高付加価値化の推進を通じ、地元一次産品の消費拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・稼げる農産物推進事業（補助金など） 3,140千円 ・スマート農業推進事業（補助金など） 12,024千円 ・お茶包括支援事業（委託料など） 6,300千円 ・農業参入法人育成支援事業（補助金） 4,000千円 ・竹利活用推進事業（委託料） 4,000千円 ・うべ産水産物認知度向上事業（委託料など） 3,507千円 ・地産地消推進事業（補助金など） 2,104千円 ・農商工連携推進事業（補助金など） 1,013千円 ・販路拡大推進事業（補助金など） 814千円 ・地域ブランド推進事業（委託料など） 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①認定農業者数（+15人） ②新規漁業就業者（+13人） ③6次産業化等により開発された商品の新規取引件数（+10件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/keikaku/chihousousei/index.html

事業概要：若年女性の暮らしやすいまちづくり

継続

申請者	山口県宇部市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	132,042千円 (35,980千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	「女性の暮らしやすさ」向上につながる取組を調査・研究し、企画・実施していくことで若者や女性にとって魅力的なまちづくりを推進するとともに、健康づくりや、若者や子育て世帯が多い地区での交流拠点づくり、学生が多いまちの特徴を生かして学生の視点を市政に取り入れるなど、様々な観点から若者や女性がいいきと生活していける環境を整備し、若年女性に選んでもらえるまちづくりを進めることで、若年女性の流出を防いでいく。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年女性の流出を防いでいくため、女性の暮らしやすい宇部市を創るため、ワーキンググループ「うべ女子ラボ」を立ち上げ、調査・研究を進めている。加えて、参加しやすい環境でのセミナーなど女性の健康課題に関する啓発・健康教育を実施。また、若年女性や子育て世代が多く集うゆめタウン宇部の施設内に、好きな本を持ち寄って、本を借りながら人同士もつながっていく交流施設「まちライブラリー」を新たに整備。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・女性の暮らしやすさ推進事業（委託料）3,000千円 若年女性をはじめとした女性の暮らしやすさを調査・研究する場の運用及び女性の暮らしやすさを向上させる取組の実施 ・学生生活躍推進経費（委託料、アドバイザー謝礼）4,912千円 ・女性の健康づくり推進事業（講師謝礼、委託料、使用料他）518千円 賑わい創出事業（委託料、光熱水費、借上料等）27,550千円 同年代の女性や多世代の方との新たな交流拠点（まちライブラリー）の運営							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若年女性（20歳～39歳）の転出者数の前年比較における 差分人数(－30人) ②女性の暮らしやすさを向上させる新たな取組の実施数(+3件) ③若年女性の健康づくりセミナー等への参加者数(+190人) ④まちライブラリーにおけるワークショップの若年女性参加者数（+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/keikaku/chihousousei/index.html	

事業概要：デジタルを活用した歴史体験学習拠点整備事業

継続

申請者	山口県宇部市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,535千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の歴史を楽しみながら学べる体験型のデジタルコンテンツを制作し、WEB上に公開し、教育現場でも活用することで、若者のふるさとへの愛着を育み本市への定着を促進する。 ・中心市街地にVRシアターを備えた歴史体験学習拠点を整備することで、交流人口の増加と中心市街地の活性化を図る。 ・デジタル技術の活用により、本市の歴史や文化を恒久的に継承していくことができる仕組みを作ること、持続可能で魅力のあるまちづくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・石炭記念館の建物や展示品等のデジタルアーカイブ化 ・市の歴史を体験しながら学べるデジタルコンテンツ「デジタルミュージアム」を制作						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルアーカイブ化（委託料） 34,900千円 ・デジタルコンテンツ制作（委託料） 15,000千円 ・デジタルミュージアム構築アドバイザー（旅費・謝礼） 100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者（20～34歳）の転出超過抑制（120人） ②歴史体験学習拠点（VRシアター）の利用者数（5,000人） ③VRデジタルミュージアム（WEB）のアクセス数（110,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	宇部市公式ウェブサイト https://city.ube.yamaguchi.jp

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：関係人口の創出による農山村エリア活性化プロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	山口県山口市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	517,875千円 (73,711千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れの分野
目的・効果	・関係人口の創出拡大を図り、コーディネーター（関係案内人）を育成するとともに、プロモーション事業や移住・定住の取組を強化することで、さらなる農山村エリアへの新たな人の流れを創出し、転出超過の抑制を目指す。 ・農山村エリアの歴史文化施設や道の駅のリニューアルイベント、農林水産物を活用したイベント等の開催により交流人口の拡大を図る。 ・スマート農機等の導入による経営基盤の強化や担い手確保、6次産業化など新たな商品開発等に取り組み、都市部での特産品フェアの開催等による認知向上や販売促進を図り、持続可能な農山村エリアの形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交流人口の拡大に向け、地域資源の磨き上げや生産体制の支援、道の駅の機能強化、特産品販売イベント等による都市農村交流の促進を図り、また、関係人口の創出・拡大に向け、本市に関わるきっかけとなる各種の情報発信等に都市部人材等と地域をつなぐ関係案内人と連携して取り組む。 【R8年度事業 経費内訳】 ・道の駅の機能強化の取組（委託料等）19,979千円 ・農林水産物を活用した情報発信事業（委託料等）1,480千円 ・地域の個性を活かす交付金事業（交付金）2,400千円 ・移住者の定着化や定住実現に向けたプロモーションの取組（委託料）14,448千円 ・省力化につながる農業用施設や農機具等の導入加速化支援（補助金）25,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①本事業を通じて農山村エリアへ移住した人数（+117人） ②農山村エリア等における人口の転出超過の抑制（+253人） ③関係案内人育成数（+15人） ④農山村エリア(過疎地域)の交流人口（+235,000人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

事業概要：「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～

旧制度（推進）

申請者	山口県山口市ほか6自治体	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,593,916千円 (247,862千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	コロナ禍を通して生じた社会の変化、新しい旅のスタイルに対応しながら、観光関連産業の成長促進を図る。加えて関係人口や移住・定住につながる新たな交流への深化（質的転換）につなげる取組を展開するなど、経済波及効果の大きい観光を基軸にした誘客・消費拡大と持続可能な観光地域づくりを通じて、あらゆる地域に定住できる連携都市圏域「山口ゆめ回廊」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・新しい生活様式や行動様式等の社会の変化に対応した持続可能な新たな交流の創造 ・住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造 ・インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出 などに関する以下の経費内訳に示すような取組みを行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新しい生活様式や行動様式等の社会の変化に対応した持続可能な新たな交流の創造 ・7市町観光誘客・滞在時間・消費拡大に向けた観光モデル事業の実施等（負担金）24,415千円 ○住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造 ・山口市の資源を生かした「山口ゆめ回廊」つなぎ創る未来共創事業（委託料補助金 通信運搬費 印刷製本費）12,800千円 ・夜型観光推進事業（消耗品費、委託料）25,690千円 ○インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出 ・ターゲット国別ニーズを踏まえたインバウンド誘客プロモーション事業（委託料、負担金、印刷製本費）22,600千円 ・交流創出事業委託事業（委託料、負担金）36,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①MICE誘致件数（+240件） ②着地型観光プログラム造成件数（+84件） ③外国人観光客数（+392,801人）		
URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.yamaguchi.lg.jp/sos/hiki/14/186773.html		

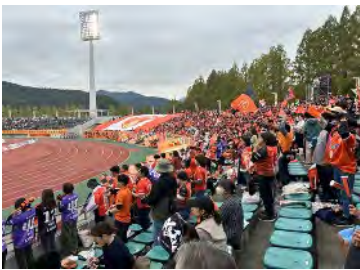


※山口県山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町の広域連携事業

事業概要：地域経済を支える地元企業人材確保プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山口県山口市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	120,920千円 (40,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	定住の受け皿となる中小企業の経営基盤の強化に向けた取組によって、地方都市の地域経済や市民生活等を支える魅力的な地域産業を守り、雇用を確保するとともに、将来の産業を担う若者を始めとした生産年齢人口に対する、様々な分野の地元企業の情報発信の取組を実施することで、本市ならではの地元就職の機運醸成を図る。こうした取組を通じて、これからも住み続けたいと思えるまちづくりを実現し、人口減少対策を進める。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少対策を進めていくためには地元就職の増加が不可欠であるものの、市内企業の人手不足と若者の人材流出の課題は深刻である。地元就職を促進するため、雇用の受け皿となる中小企業の経営基盤の強化に向けた取組によって、地方都市の地域経済や市民生活等を支える魅力的な地域産業を守り、雇用を確保するとともに、将来の産業を担う若者を始めとした生産年齢人口に対する、様々な分野の地元企業の情報発信の取組を実施することで、本市ならではの地元就職の機運醸成を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを実現していく。	課題 取組 効果 将来像 高校生 県外進学 7割 地元企業を 知らないまま転出 大学生 卒業後の定住希望 47.8% ギャップ 約10% 県内就職率 38.4% 企業 人手不足 5割超 中小企業 経営基盤強化 若者に向けた 情報発信の強化 人材確保力の強化 地元就職 気運醸成 地元就職 (増) 定住人口 (増)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・学生参加型採用力向上事業（委託） ： 8,000千円 ・地元企業魅力発信事業（委託） ： 22,400千円 ・マッチング事業承継支援事業（委託） ： 4,000千円 ・若手社員の職場定着支援事業（委託） ： 500千円 ・仕事と子育て両立推進事業（補助・委託） ： 400千円 ・デジタル技術活用促進事業（委託） ： 5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数 ②人手充足企業の割合 ③事業承継マッチングした企業数 ④地元企業に就職したい割合	(+340人) (+6.5%) (+12社) (+82%)	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

申請者	山口県山口市、山口県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	255,796千円 (83,184千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	一定の人口減少や高齢化が進み、これまでの消費需要が減少する中であっても、進展する高齢化を新たな消費需要の好機と捉え、人口構成の変化に適応した地域の中小企業等の新たな商品・サービスの開発や付加価値向上を促進することで、持続可能な地域経済の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○地域の課題解決に資する新たなサービス等の創出・社会実装の促進 ○高齢者等の健康づくり・生きがいづくりに向けた外出機会の創出促進などに関する以下の経費内訳に示すような取組みを行う。					【高齢者等の社会参画促進等を通じたヘルスケア・生活関連産業等成長プロジェクト】    	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地域の課題解決に資する新たなサービス等の創出・社会実装の促進・民間ノウハウを活用した高齢者等の社会参画促進に資するサービス等の創出促進（委託料）17,000千円 ・伴走支援スキームの構築（委託料）38,583千円 ・エビデンス構築に係る効果検証への補助（補助金）10,384千円 ○高齢者等の健康づくり・生きがいづくりに向けた外出機会の創出促進・メディフィットラボ事業（委託料）7,897千円 ・高齢者の生涯現役活躍推進事業（委託料）800千円 ・プロサッカーチーム連携事業（委託料）2,000千円 ・温泉を活用した健康づくり事業（委託料）2,000円 ・高齢者等の移動手段の確保・充実事業（委託料・補助金）3,906千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規起業件数（+32件） ②本取組の効果により創出された商品・サービス数（+22件） ③SIBプログラム参加者数（+1,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

事業概要：道の駅「あいお」の移転整備による周遊促進・地域経済活性化プロジェクト

継続

申請者	山口県山口市、山口県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,955,113千円 (452,308千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・道の駅「あいお」の移転整備に合わせて、新たな特産品の開発や、出荷者の生産性向上、情報発信機能の充実、アクセス性向上や安全性向上につながる道路整備を一体的に行うことにより、周辺地域を含めた交流人口の増加、地域産品の販売促進を通じた地域の基幹産業である水産業の担い手確保や地域における新たな雇用創出を図り、地域経済の活性化につなげるとともに、地域の防災機能の強化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 山口市秋穂地域に所在する道の駅「あいお」は、年々、売上高及び来場者数が増加傾向にある中、施設の狭隘化への対応や地域の防災拠点機能の確保などの課題を抱えている。そのため、道の駅「あいお」の移転整備により、施設面積の拡張を行うと同時に、新たな特産品開発、地域の周遊促進に向けた取組、出荷者の生産性向上、情報発信機能の整備、道の駅へのアクセス向上や安全性向上に向けた道路整備事業を一体的に実施する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新たな特産品等開発支援（補助金）1,500千円 ・近隣道の駅との連携事業（負担金）500千円 ・新たな観光周遊コンテンツの検討（委託料）1,500千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事（直売所、レストラン、交流スペース等） 155,881千円 ・建物周辺整備に向けた用地造成工事 252,712千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 40,000千円 道の駅へのアクセス向上や安全性向上に向けた交差点改良を行う							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+150,599千円） ②道の駅「あいお」の来場者数（+377,933人） ③道の駅「あいお」の出荷者数（+329事業者） ④緊急時の避難場所を知っている市民の割合（+11.9%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	山口県 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/19/318600.html 山口市 https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

事業概要：公民連携による若者のDX人材育成プロジェクト

継続

申請者	山口県山口市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	345,487千円 (109,432千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大学で本格化する人材育成事業と呼応し、学都山口の地域資源を生かした公民連携による人材育成、フィールドワーク等を通じ、若者のシビックプライドの醸成や地元就職・地元定着を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 学都山口の地域資源を生かした大学生等を中心とした若者の人材育成 (詳細は以下のとおり)						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公民連携窓口の設置及び提案、実証 ・公民連携の提案実証(委託) 1,000千円 市内の3大学や専門学校(学生含む)、企業とが一体となって地域課題の解決を図る提案を行い、公民連携のもと取り組むもの。 ○大学生等にフィールドワークや活動の場を提供する仕組みづくり ・市内文教施設との連携によるDXプログラムの展開(委託) 6,300千円 YCAMが取り組んでいる作品制作の企画・運営に学生に参画してもらい、デジタル技術等を活用しながら学び、創造する過程を通じて人材育成につなげていくもの。 ・本市のまちづくりと大学との連携(委託) 97,132千円(補助) 5,000千円 大学と連携して学生が自ら考えて市の地域課題の解決やまちづくりへの寄与につながるような授業、フィールドワーク等を実施する。また、民間企業のノウハウとネットワークを生かしたDXをはじめとする専門人材による支援体制を構築するとともに、生成AIの利活用など、新たな時代の要請にも柔軟かつ迅速に対応しながら、起業・創業や第二創業、新事業開発等の支援や、学生向けのビジネス体験プログラムを実施するもの。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内3大学(山口大学、山口県立大学、山口学芸大学(山口芸術短期大学含む))の市内就職予定者数(+30人) ②公民連携の中で大学が地域や企業と連携した取組の数(+14件) ③公民連携の取組に参画した大学生の人数(+125人) ④公民連携窓口の利用件数(+100件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

大学内でのDX人材育成の講義の様子

申請者	山口県山口市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,500千円 (39,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	都市機能が集まる市街地の中心に温泉が湧き出ているという全国でも特徴的な湯田温泉に住んでよかった、住んでみたいと思ってもらえるように、市街地の魅力を高め、豊かな暮らしと交流を創出し、定住促進を図るとともに、県内最大規模の宿泊・保養拠点である湯田温泉の歴史や文化等を生かした取組を進め、観光客が地域を回遊し、住民との触れ合いを通じて、再び訪れたいと思っていただけるような観光地域づくりをより一層進めることで、基幹産業である観光業の維持及び拡大や「住んでよし、訪れてよしの湯田温泉」を実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「住んでよし、訪れてよしの湯田温泉」の実現を図るため、「定住促進や豊かな暮らしを育むコミュニティづくり」と「観光客100万人に向けた交流人口の拡大促進」に向けた取組を進める。					都市型温泉を活用した観光地域づくり事業 ～住んでよし 訪れてよしの湯田温泉～ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○定住促進や豊かな暮らしを育むコミュニティづくり ・高齢者等の健康づくりや生きがいづくり事業（委託料）【1,000千円】 ・地域等と連携した若者の活躍の場づくり事業（委託料）【1,000千円】 ・安心して楽しく子育てできる環境づくり事業（委託料）【2,000千円】 ○観光客100万人に向けた交流人口の拡大促進 ・観光客の受け入れ体制の整備・充実（委託料）【1,000千円】 ・湯田温泉の公共施設等を活用した新たな体験イベント等の実施（委託料）【31,000千円】 ・地元企業や大学等と連携した湯田温泉の歴史や文化、伝統行事等の磨きあげ等に向けた支援（補助金）【1,500千円】 ・宿泊機能の維持・強化に向けた調査事業(委託料)【2,000千円】						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①湯田地域における人口（+180人） ②湯田地域における「日々の暮らしの中で、いきがいをを感じる」人の割合（+9%） ③湯田温泉の観光客数（+105,000人） ④湯田温泉のホテル・旅館等の数（+3施設）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

申請者	山口県山口市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	243,144千円 (70,108千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・歴史的景観が残る大殿地域において、町屋の保存や地域の賑わい創出によって、歴史あふれるまちなみを保全・更新する。 ・大内文化を代表する工芸品「大内塗」の後継者の育成や認知度向上により、伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・伝統的祭りの舞台であり、かつ行政、文化、教育、商業、観光などの都市機能が集積する中心市街地において、祭りやこれからのまちづくりを担う新たなコミュニティの創出や建物の改修を行うことで、持続可能で利便性の高い都市核づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大内氏が京都の文化を取り入れて築き上げた「西の京」として独自の歴史と文化を培ってきた本市において、町屋などの歴史文化資源の保全・活用を進めるとともに、伝統工芸「大内塗」の担い手育成や文化施設を活かした交流・回遊促進を図る。また、商店街のエリアマネジメント強化や新たな担い手コミュニティの形成を通じて、歴史と文化を核としたにぎわいと定住環境を創出し、持続可能で個性が光るまちづくりを推進する。					  約600年続くちょうちんまつり 町屋の保存・活用を進める大殿地域	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・町屋活用具体化に向けた事前調査（委託料）6,600千円 ・歴史的建築物を活用した文化施設の賑わい創出（委託料）4,208千円 ・「山口市版地域おこし協力隊」制度による大内塗の担い手育成（人件費）7,061千円（委託料）4,439千円 ・新たなまちづくり担い手コミュニティ育成（委託料）15,000千円					  伝統工芸「大内塗」	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地一帯（大殿地域、白石地域）における定住人口（+90人） ②文化施設の入館者数（+6,000人） ③中心市街地一帯（大殿地域、白石地域）における「歴史文化芸術への愛着を感じる」人の割合（+5.1%） ④山口ふるさと伝承総合センターまなび館の来館者数及びものづくり教室等の体験人数（+1,050人） ⑤週2～3回以上定期的に中心市街地を訪れる来街者の割合（+2.7%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/186773.html

事業概要：陸上競技を核とした関係人口創出による持続可能なまちづくり ～スポーツによる好循環促進事業～

旧制度（推進）

申請者	山口県萩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	20,900千円 （3,369千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	官民学（萩市・一般社団法人アスリートキャリアセンター・一般社団法人絆スポーツクラブ萩・青山学院大学陸上部）が連携し、スポーツ指導者を育成し、及び陸上競技を核とした交流人口・関係人口を創出することで、持続可能なまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・スポーツによる地域活性化推進事業 ・合宿誘致推進事業 ・萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会サイドイベント などに関する以下の経費内訳に示すような取組みを行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○スポーツによる地域活性化推進事業 クラブコーチ育成カリキュラムを活用した研修会を実施 （委託料）2,670千円 ○合宿誘致推進事業 地域資源を活用し、市外からトップアスリートを誘致 （補助金）366千円 ○萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会サイドイベント 各種大会におけるサイドイベントの開催 （補助金）333千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①絆ランニングクラブ萩入会者数 （+70人） ②指導資格保有者数 （+50人） ③トップアスリート合宿誘致人数 （+10人） ④陸上競技における全国大会出場者数 （+12人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hagikizuna.com/ （一般社団法人絆スポーツクラブ萩） https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12/ （萩市HP）

事業概要：「志」を継承する高度デジタル人材育成と地方分散加速プロジェクト

新規

～ひとづくりの精神を起点とした、人・デジタル・仕事の好循環創生パッケージ～

申請者	山口県萩市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	90,342千円 (30,114千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・産官学が連携した「萩グローバルIT人材育成協議会」を中核として、「萩IT松下村塾」等での高度デジタル人材の育成と、市内事業者のDX支援（デジタル技術導入）を一体的に進めることで、地域全体の付加価値向上と「稼ぐ力」の底上げを目指す。 ・サテライトオフィスの誘致や「萩テレワーク推進パートナー企業」とのマッチングを通じて、都市部企業の仕事を地方で行う新しい働き方を普及させ、若者や都市部人材の萩市への流入・定着を加速させることに繋げる。 ・人材育成（供給）、経営革新支援（需要）、地方分散・定着促進（循環）の3施策を連携させて地域経済の好循環を形成し、交付金終了後も民間資金等で自立的に発展できる地方創生モデルの確立を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・萩市は、進学や就職を契機とした若年層の流出による深刻な社会減に直面しており、高度なデジタル技術を活かせる魅力的な雇用の場を早急に創出するため、藩政時代から続く「ひとづくり」の伝統（歴史的DNA）を継承し、ITリテラシーを高める共通学習環境の提供や地場企業の生産性改善に向けた伴走支援を実効的に展開するとともに、場所を選ばない働き方を可能にする環境整備を通じて人や企業の地方分散を強力に加速させることで、若者が定着する持続可能な地域社会の実現を図る。					 GEOGRAPHY & HERITAGE 地勢・歴史 歴史が息づく、学びの聖地 1604 毛利輝元による築城と城下町形成 中国地方の覇者・毛利氏が築城を築城。以来260年、最前線の拠点として政治・行政・経済の中心地となり、現在の美しい町並みの礎が築かれました。 1857 明治維新胎動の地・松下村塾 吉田松陰が主宰した私塾から、高杉晋作、伊藤博文など、近代日本の原動力となった数多くの志士を輩出。「ひとづくり」の精神が今も継がれています。 2026 歴史と革新の融合 世界遺産の歴史的景観を保存しながら、IT企業の誘致やサテライトオフィスの開設など、新しい時代の「学びと革新」を推進しています。 『学びと革新のDNAが息づく歴史の町 萩』	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・グローバルIT人材確保・育成事業（補助金）3,060千円 ・デジタル化による経営革新事業（補助金）20,844千円 ・萩テレワーク就業マッチング強化事業（委託料）5,000千円 ・サテライトオフィス誘致推進プロモーション事業（委託料）1,210千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+15世帯） ②「萩IT松下村塾」の受講者数（+80人） ③デジタル技術導入支援及び相談件数（+130件） ④「萩テレワーク推進パートナー企業」での新規就業者数（50人） ⑤「誘致企業」での新規雇用・県外転入人数（15人）					URL	https://www.hagi-society5.org/about/ https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12/

事業概要：須佐湾エコロジーキャンプ場リブランディング事業

新規

申請者	山口県萩市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	165,239千円 (3,339千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・極度な人口減少と地域経済が低迷する中、キャンプ場整備に伴い、地域全体の交流人口の増加を図るとともに、人口減少に伴う人手不足を解消し、地域産業の活性化を目指す。 ・平成8年に整備された須佐湾エコロジーキャンプ場は、須佐地域内で多くの集客がある施設で長年親しまれてきたが、近年はデジタル対応の遅れ、さらには地域人口の減少により利用客が減少傾向にあるため、快適なキャンプ活動が行われるよう、施設の改修を実施する。 ・当該整備により交流人口が増加し、地域産業である観光客の増加や農林水産物の消費が見込まれる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 建物の改修とデジタル化に対応した整備を行い、利用客数の増加を図る。 ・コテージ4棟、ロッジ5棟の改修 ・備品の整備とともに室内設備を充実させ、安全で快適な室内空間を確保する。 ・デジタル環境等整備としてWi-Fiを整備することにより、様々なデジタル機器に対応でき、利用者の利便性と運営業務の軽減を図るとともに集客に繋がるSNS等の発信の基盤を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・設備設計業務委託 3,339千円 ・コテージ棟改修 102,000千円 ・コテージ棟備品整備 4,900千円 ・ロッジ棟改修 46,000千円 ・ロッジ棟備品等整備 3,700千円 ・wi-fi等整備 5,300千円						
主なKPI	①交流人口の増加（当該施設に係る年間利用者数）（+1,400人） ②交流人口の増加(地域内観光施設及びイベントの来場者数)(+980人) ③萩市内の旅行消費額（+2,200円） ④来訪者の満足度（0.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12/

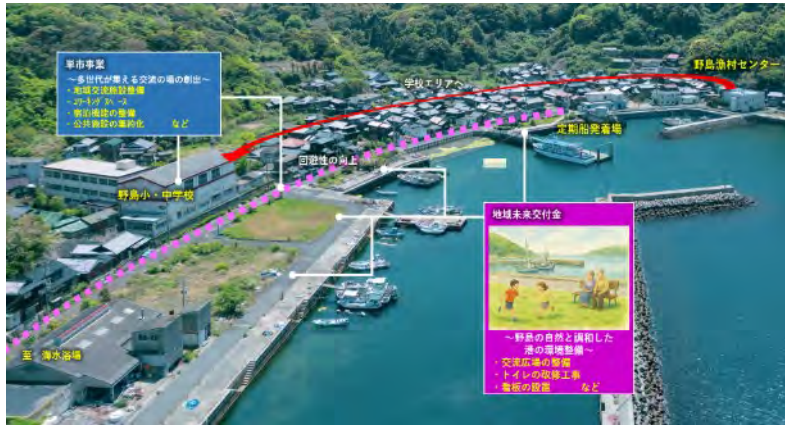
事業概要：天満宮表参道活性化事業

継続

申請者	山口県防府市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	288,890千円 (27,690千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	商店街から防府天満宮につながる道を、まちなかにふさわしい民間投資の後押しとなる道として整備するとともに、まちなかへの新規出店や既存事業者の事業継続、安全・安心できれいな街並みづくりの促進、天満宮表参道に人の流れを創出する事業を実施することで、まちなかににぎわいの創出や地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○中小企業サポートセンターによる伴走支援事業 ○新規出店・事業継続支援事業 ○天満宮表参道周辺景観整備事業 などに関する以下の経費内訳に示すような取組を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・中小企業サポートセンターによる伴走支援事業 相談体制強化（補助金）4,300千円 セミナー開催等（補助金）1,300千円 ・新規出店・事業継続支援事業 新規出店者の空き店舗等改修に係る経費（5,000千円） 既存店舗の改修に係る経費（15,000千円） ・天満宮表参道周辺景観整備事業 タペストリー設置に係る経費（2,090千円）						
主なKPI	①中心市街地の居住人口（+174人） ②商業地域内の新規創業件数（+6件） ③天神町銀座商店街の空き地利活用件数（+3件） ④中小企業サポートセンターの創業・事業経営に関する相談件数（+50件） ⑤防府天満宮の観光客数（+80,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/shingikai/tyuusyoushoukigyousinnkoukaigi.html

事業概要：野島活性化プロジェクト事業 ～多世代が交流する元気な島づくり～

新規

申請者	山口県防府市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,070千円 (16,108千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・野島の島内外に開かれた魅力的な地域交流の拠点としての施設整備を行う。 ・地域交流の拠点を活用し、野島ならではの魅力を活かした地域交流イベントを地元や多様な団体とともに継続的に実施する。 ・野島の魅力を活かした地域交流イベントを定期開催することにより、担い手の確保と人材循環が生まれ、交流人口層を関係人口層へ転化させる仕組づくりを構築し、地域活動の維持や地域の持続的発展に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 こどもから高齢者まで多世代交流をコンセプトとした多様な人が来島できる環境や地域交流イベントを効果的に行う環境を整えるため、漁港未利用地を活用した広場整備（新築）やガイドサインの設置を実施し、地域交流の拠点とします。加えて、山口県立大学と連携し、野島の地域交流イベントの定期実施とイベントの担い手を中心とした持続可能かつ自走型のイベント開催の定着のための共同研究を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・野島活性化支援（委託料）1,000千円） 野島の自然・文化・伝統などの地域資源の整理とデータベースの構築 地域おこし協力隊を中心とした島づくりの可能性についての研究 野島の魅力を活かしたイベント型ワークショップの開催 ○拠点整備事業 ・施設整備委託料 地域交流広場整備 12,399千円 ・設置設営委託料 ガイドサインの設置 2,709千円						
主なKPI	①渡船人数（交流人口）（+7,000人） ②多世代による地域交流イベントへの参画団体数（+7団体） ③多世代による地域交流イベントの担い手人数（+7人） ④地域交流イベントの定期実施回数（+7回）					URL	https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soshiki/37/nosimakasseikakenn_touiinnkai.html

事業概要：未来の担い手育成事業 土地利用型農業推進プロジェクト事業

新規

申請者	山口県防府市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,285千円 (41,705千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	高収益農産物の生産が可能な農業生産技術等に熟練した人材を育成し、即戦力となる人材を地域農業の核となる営農法人等に輩出することで、新規就農者を確保する。また、営農法人の人材育成に係る負担の軽減を図るとともに、農地集積・事業拡充(高収益作物の生産、耕地面積及び生産量の増加等)を加速させることで、地域農業の付加価値額(所得)向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市農林業政策懇話会等により、営農法人等の事業拡充において、即戦力となる人材の育成・確保が、課題となっていることが判明したため、防府市農業公社において、新規就農希望者を任期付職員として雇用し、高収益作物の生産・販売の実践により、高収益作物の生産やスマート農機の操作、省力化等の先端技術、先端事例調査や経営手法等を指導。農業生産技術に熟練した人材を育成し、営農法人等に輩出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域農業の担い手育成を支援(補助金) 41,705千円						
主なKPI	①集積した農地での水稻生産による付加価値額(+30,000千円) ②土地利用型農業の新規就農者数(+5人) ③当該事業で指導を行う就農希望者数(+8人) ④復田した遊休農地等の面積(+20ha)					URL	https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/shingi-kai/lisut292-1327.html

事業概要：潮彩エリア活性化プロジェクト

新規

申請者	山口県防府市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,997,181千円 (27,700千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅と水産市場のある潮彩エリアに青果市場を移転することで、エリア全体を市の一次産業拠点として高付加価値化を目指す。 ・一次産業に触れ、学び、体験することができる場の提供と多様なイベントの開催等により、関係人口・交流人口の拡大に繋げる。 ・道の駅の集客力や「食の拠点」としての情報発信力の向上により、潮彩エリア内外の観光消費額を押し上げ、地域経済の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅と水産市場のある潮彩エリアに、最適な規模の青果市場機能を移転し、道の駅と2つの市場が一体となった一次産業拠点を整備する。新たな青果市場には、自然と一次産業に触れ、学び、体験することができる施設を併設し、とれたての「食」の魅力を発信できる特色ある道の駅として最大限に機能強化するとともに、大型遊具メーバル号や緑地を含めた潮彩エリア周辺一帯を「新鮮・美味しい・楽しい」周遊拠点として創造する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・一次産業拠点整備 基本設計費用 27,700千円 (防府市公設青果物地方卸売市場及び周辺駐車場)						
主なKPI	①潮彩エリア周辺一帯の来客数 (+10万5000人) ②道の駅潮彩市場防府の総売上額 (+3億4,000万円) ③道の駅潮彩市場防府の客単価の上昇額 (+450円) ④青果市場の年間総取扱数量 (野菜・果実等の総量) (+1,255トン) ⑤青果市場の買受人登録者数 (+8人)					URL	令和8年9月公表
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：「ものづくりのまち下松」就業促進プロジェクト

継続

申請者	山口県下松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	9,596千円 (3,378千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の基幹産業である製造業を中心とした、雇用の確保、拡大を進める市内事業者の求人を支援し、市内事業者が抱える人手不足の課題解消を目指す。 ・若い世代や女性の市内事業所への就業を促進することにより、若い世代の定住に加え、転入や婚姻、出産等に繋がり、人口の増加と流出抑制を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若い世代や女性に対して、市内製造事業者のPRを行うため、SNS等を利用した情報発信、学生・求職者を対象とした女性従業員との交流イベントや、見学バスツアー等のイベントの開催、初年度に作成したVtuberを活用した企業紹介動画の作成、くだまつのづくり女子就業推進事業者の認定を受けた市内事業者の紹介パンフレットの更新を行う。また、市内製造業における女性の積極的な雇用を促進するため、企業向けセミナーを開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 SNS等を利用した情報発信、学生・求職者を対象とした女性従業員との交流イベントや見学バスツアー等のイベントの開催、公式Vtuberを用いた企業紹介動画の作成、くだまつのづくり女子就業推進事業者の認定を受けた市内事業者紹介パンフレットの更新、企業向けセミナーの開催を行うもの。 ・情報発信、イベント開催、Vtuberを用いた動画作成（委託料）2,700千円 ・企業向けセミナーの開催（委託料）678千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口（+300人） ②地元工業高校の市内就職率（+9%） ③「くだまつのづくり女子就業推進事業者」の認定を受けた事業者に就業する女性従業員の増加数（+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：JR下松駅周辺にぎわい活性化事業

新規

申請者	山口県下松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,133千円 (41,192千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・JR下松駅周辺に産業振興の拠点となる施設を整備し、地元商工会議所が施設の管理運営を行うことで、駅周辺の創業支援を強化する。 ・既設の観光案内所（下松市観光協会）等と連携したイベントを開催することにより、にぎわいの創出と活性化を目指す。 ・地元産業の相互連携や育成・振興による、活気と魅力に満ちたまちづくりの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の下松市駅南市民交流センターを改修し、新たに産業拠点施設として整備を行う。施設内にコワーキングスペースを設置し、駅周辺の関係人口を創出し、昼間人口や滞在時間の増加を図る。駅前に産業拠点施設の駐車場を整備する。産業拠点施設に商工会議所が施設に入ること、インキュベーション機能を強化し、駅周辺の空き店舗等を活用した創業支援に繋げる。商工会議所、観光協会、飲食業協同組合、駅周辺の事業者、自治会などが協力・連携した大規模イベントの開催に対して支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・下松駅南市民交流センター改修工事（工事請負費）40,000千円 ・下松駅南市民交流センター駐車場整備工事（工事請負費）1,192千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地区人口（+60人） ②施設の利用者数（+600人） ③地域における創業件数（+6件） ④地域におけるイベント来客数（+6,000人） ⑤駅利用者数（+600人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：米川地域づくり拠点施設建設事業

新規

申請者	山口県下松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	416,629千円 (416,629千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・米川の中山間地域の特性を活かした事業をはじめ、ゆずやそば等の特産品と施設周辺に点在する観光資源等を有機的に連携活用させたイベント等の開催、地場産品の販売・PR等を通して、交流人口、関係人口、移住定住者（世帯）の増加を図り、観光客の増加、にぎわいの創出や地域活性化につなげる。 ・金融機関、診療所、出張所、防災拠点機能、コミュニティ等の機能を有する多機能複合型の拠点施設を整備する。 ・拠点施設を通じて地域交流活動を活性化させ、地域住民がイキイキと活動を続けられる持続可能な小さな地域づくり拠点をを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 施設内に金融機関を誘致するとともに、診療所、出張所、防災、コミュニティ等の機能を併せ持った多機能複合型の拠点施設として新たに整備することで、地域住民の満足度や利便性の向上、防災体制の強化による安全安心につなげる。また、地域の多主体が参画し、特産品や地域資源を活用したイベント等の開催を通して、地域の活性化やにぎわい交流の拠点となる施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築工事費等 372,311千円 (貸テナント、多目的スペース・ブースなど) ・外構工事費 41,096千円 ・備品整備費 (事務用品、家電、調理用品購入) 3,222千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設来館者数 (+1,350人) ②地区観光客数 (+8,320人) ③移住・定住世帯数 (+6世帯)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

申請者	山口県岩国市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「日本酒文化の発信地」としての地位の確立、地域の伝統産業の活性化を目指すとともに、外国人観光客を呼び込むことで域内の需要喚起と新たな市場開拓を進め、地場産業の活性化や地域の雇用創出を通じて持続可能な発展を目指す。 デジタルマーケティング人材を育成することにより、地場産業の強化を図り、域内外のヒト、コト、モノをつなぎ合わせ、岩国市に新たな交流やビジネス及びサービスを作り出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 岩国市は、地域の風土やこだわりの素材、独自の製法に根ざした五つの酒蔵があり、魅力ある独自の「日本酒」文化を有している。また、米軍基地を有していることで、多様な外国人住民との共生を通じて、異文化交流が促進できる環境が整っている。 このような特性を活かし、官民や地域住民等が連携して「日本酒のくに、いわくに」という新たな都市ブランドの確立を図り、国内はもとより、インバウンド観光客を含む外国人を呼び込むことで域内の需要喚起と新たな市場開拓を進め、地場産業の活性化や地域の雇用創出を通じて、持続可能な発展を目指す。 合わせて、市内事業者等に対し、本市の魅力を国外を含む域内外に発信することを目的に、SNS等を活用した企画やプロモーション、マーケティングを自発的に仕掛けられる人材の育成を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○日本酒のくに、いわくに推進事業 ・市場調査、プロモーション、酒蔵見学整備、イベント開催 (委託料) 19,000千円 ○デジタルマーケティング人材育成事業 ・ニーズ調査、教育プログラム開発、セミナー・ワークショップ実施 (委託料) 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+6,677百万円) ②岩国市観光客動態調査における観光入込者数 (+102万人) ③岩国市公式ファンクラブ会員数及び岩国市公式ファンクラブLINE公式登録者数 (+2,235人) ④岩国市の魅力度の全国順位 (▲118位) ⑤関連イベントの実施回数 (+6回) ⑥セミナー及び研修会等の参加者数 (+240人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.iwakuni.lg.jp/soshiki/115/117013.html (効果検証) 令和8年9月公表予定

事業概要：岩国市デジタル活用推進による人材育成&企業活性化プロジェクト事業

継続

申請者	山口県岩国市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,000千円 (14,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル技術活用等のビジネススキル習得機会を提供し、女性や若者等の潜在的労働力の就業を促進。また、市内企業の魅力や求人情報を発信するプラットフォームを構築・運営し、地元就労マッチングを支援する。 市内企業の人材不足解消と育成支援のため、デジタル技術を活用する人材育成、生産性向上・省力化等に資する技術習得機会の提供、導入支援の相談窓口を設置する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○未就労者向け人材育成事業 時間や場所に捉われない多様な働き方を可能にするデジタル技術の活用等スキルを学ぶ機会を提供し、女性や若者を中心とした就業を促進する。 ○中小企業支援（人材確保・育成支援事業、経営基盤強化事業） 市内企業の人材不足解消と人材育成のため、デジタル技術の活用、生産性向上、省力化等に資するスキルを学ぶ機会を提供する。 ○地元就労マッチング支援事業 学生や保護者、未就労者等に向けて市内企業の魅力や求人情報等を発信する仕組みを整え、地元での就労マッチングを支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○未就労者向け支援 ・未就労者向け人材育成事業（委託料 5,000千円） ・地元就労マッチング支援事業（委託料 1,000千円） ○中小企業向け支援 ・中小企業の人材確保・育成事業（委託料 5,200千円） ・中小企業の経営基盤強化事業（委託料 2,800千円）						
主なKPI	①地域における新規雇用者数 (+120人) ②事業への参加を通じて、自社にデジタル技術を導入又は導入計画を策定した事業者 (+24社) ③新規高卒者の市内就職率 (+6.0%) ④セミナー及びEラーニング等の参加者数 (+160者) ⑤デジタル化に関する相談窓口の延べ相談件数 (+120者)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【事業概要説明HP】 https://www.city.iwakuni.lg.jp/soshiki/38/105267.html 【効果検証】 令和8年10月公表予定

事業概要：宇野千代をモデルとするドラマを活用した観光振興事業

新規

申請者	山口県岩国市、山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	217,120千円 (171,141千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	宇野千代をモデルとしたドラマの放送効果を最大限に活用し、宇野千代ゆかりの観光資源を核とした誘客と市内周遊・滞在の拡大を通じて、観光消費額の増加による地域経済の維持・拡大を図ることを目的とします。 これにより、観光資源の高付加価値化が進み、収益性・訴求力の高い観光コンテンツや関連商品等の創出が促進されるとともに、観光消費の拡大を通じて地域経済への波及効果が見込まれます。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・宇野千代の人物像・作品世界を核とする観光ブランド（誘客コンセプト）を整備し、官民が連携して、観光コンテンツの造成や受入環境整備、周遊促進施策など様々な取組を一体的に進めます。 ・山口県と連携し、全国から観光客を呼び込み、さらに県内全域への周遊促進につながるプロモーションを展開し、全県的な波及効果を図ります。 ・本事業で得られたノウハウ等は、岩国市関係団体や県域組織（「やまぐちDMO」、 「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」）が継承し、交付金終了後も継続的に取組みを進めることで、自立化を図ります。					ドラマの放送 【岩国市】 ・観光コンテンツの造成 ・受入環境整備 ・市内周遊促進 等 【山口県】 ・全国からの誘客を図る 観光プロモーションを 全県をあげて展開 連携 ▶観光資源の高付加価値化 ▶滞在型観光の促進 ▶全国から観光客を呼び込む ▶県内全域に効果を波及 『新たな観光ブランド』確立と『売れる商品・体験』創出 ・観光消費額の増加・地場産業の高付加価値化・販路拡大 ▶交付金終了後も県域組織（DMO等）が自立的に継続実施 ▶『リピーターの獲得』や『観光施で稼ぐ体制』の発展と定着 地域経済の維持・拡大 観光振興による山口県独自の「強い経済」の構築	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・宇野千代生家における展示内容の刷新（委託料） 7,483千円 ・宇野千代生家の環境整備（施設整備） 9,066千円 ・ゆかりの地をめぐる周遊促進整備（施設整備） 9,557千円 ・文化イベントや観光コンテンツの創出支援（補助金） 3,000千円 ・スタンプラリーの実施、散策マップの制作（委託料） 2,497千円 ・大都市圏におけるPRイベントの開催（委託料） 37,192千円 ・PRツールを活用した情報発信（委託料） 36,000千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岩国市の観光消費額（+5,624百万円） ②山口県の観光客数（+4,590千人） ③岩国市における4時間以上の滞在者数の割合（+9.0%） ④宇野千代生家来館者数（+2,500人） ⑤岩国市の観光客数（+750千人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.iwakuni.lg.jp/sos_hiki/39/117071.html

※山口県岩国市、山口県の広域連携事業

事業概要：持続可能な食肉流通センター成長プロジェクト

新規

申請者	山口県岩国市、山口県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,628,671千円 (1,506千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の基幹産業である畜産業が安定かつ持続的に発展していくため、拠点整備を実施し、山口県全域の牛の受け皿をつくることにより、成長にも対応できる持続可能な体制を整備。地域全体や山口県の畜産業の成長につなげる。 ・世界で最も厳しいとされるアメリカ・EUの衛生基準を順守した供給体制を構築することにより他施設との差別化を図り、選ばれる施設を目指すとともに外需獲得など販路開拓等を幅広く支援し、地場産業の付加価値を向上させることで、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 食肉流通センター施設整備を実施することにより最新の機械や技術を導入することで、生産効率を高め、更に最新の衛生設備の導入による作業時間の短縮や作業効率を向上させ、処理頭数の増頭を可能にする。併せて、污水处理施設においても環境への配慮が重要視される中で、より効率的で環境に優しい施設とするとともに、処理頭数の増加に対応させ、持続可能な運営を目指す。また、HACCP認証・格付導入による高付加価値化、海外輸出（アメリカ・E U等）事業を展開することによりブランド力の向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・HACCP認証事業（委託料）1,506千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岩国市内牛肉生産額（+5.3億円） ②食肉流通センター雇用者数（+12人） ③食肉センターと畜頭数（+276頭） ④海外輸出（アメリカ・E U等）の開始頭数（+55頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公表予定

※山口県岩国市、山口県の広域連携事業

申請者	山口県光市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,770千円 (13,085千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・主に子育て世代を対象に、「光を体験する」をキーワードに、様々な主体との連携の下、光市での遊びや暮らしの体験を提供することで、リピーターとなって何度も訪れていただき、そして最終的に移住者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育て世代を主なターゲットとし、まずは、その取っ掛かりとなる「光を体験する」をキーワードに、様々な主体との連携の下、光市での自然を活かした遊びや暮らしの体験を提供することで、光市を知ってもらい、好きになってもらい、リピーターとなって何度も訪れていただき、そして最終的に移住者の増加につながる事業を段階的に実施するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ～★「自然に癒される暮らし、ゆとりある暮らし」体験事業★～ ○遊ぶ体験 ・光の海体験プロジェクト（地引網体験事業等）（交付金）515千円 ～～★回遊の創出・地域活性化・情報発信事業★～～ ・「カンロ飴食堂のまち ひかり」プロジェクト推進事業（印刷製本費70千円） ・民間活力活用型にぎわいの場創出事業（民間活力活用型虹ヶ浜にぎわい創出事業等）（交付金）10,300千円 ・ひかり移住コンシェルジュ設置事業（委託料）1,000千円 ～～※ゼロ予算、補助対象外の取組～～ ○遊ぶ体験 ・峨嵋山樹林活用事業、ツリークライミング体験、農業(収穫)体験 ○働く体験 市内企業での職場体験コーディネート ○泊まる、滞在する体験 ひかりU J I ターン滞在費補助金、「お試し住宅」周知 ・新たな産業まつりの開催の検討、本プロジェクト公式LINEの作成・情報発信、県の「やまぐち暮らしアドバイザー」の活用、まちぐるみ情報発信ポータルサイト						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①都会からの転入者数（+37人） ②体験事業を通じた移住定住相談件数（+30件） ③地引網体験事業参加者数（+120人） ④民間活力活用型にぎわいの場創出事業参加者数（+10,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：美しい農村再生支援事業

継続

申請者	山口県長門市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,172千円 (1,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	棚田への関心度を高め、日本の原風景と言われる棚田の水田としての機能を維持するため、日本の棚田百選に認定されている「東後畑の棚田」およびやまぐちの棚田20選に認定されている「本郷棚田」の景観復活に向けて、棚田の耕作放棄地の復旧と持続可能な管理の実証を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 耕作放棄地の復旧を目指し、大学生ボランティアとの協働できる仕組みを構築し、人材不足の解消を図る。除草、水路の清掃・通水試験の後、地元の協力により重機による耕起・代かきを行い、水田化を行う。地域一体で景観の保全、誘客の促進、担い手の確保を目指す。堅実な自走のため、収益性の高い作物のみに絞って生産に取り組み、ブランディング強化を図る。新商品開発で話題性を生み、集客率の向上、道の駅との連携による収益拡大を図る。 保全活動の中心となる、地域リーダーの確保のため、大学生ボランティアと協働し、積極的な魅力発信にも取り組む。また、地域への移住者や棚田に関わりたい人々を、営農、イベント企画・運営、魅力発信等の活動協力者になってもらい、持続的な保全活動が可能となるよう体制構築を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○日本の棚田百選「東後畑の棚田」およびやまぐちの棚田20選「本郷棚田」復興プロジェクト 耕作放棄地の復旧・水田化、農道整備については範囲を拡大しつつ、稲作に取り組み、棚田米等の農産物を原料とした加工品の開発・販売を促進し、棚田米の高付加価値化に取り組む。 ・棚田保全委託業務委託料：1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①棚田で収穫される農作物の売上高（+1,550千円） ②耕作放棄地解消面積（+0.6ha） ③実働（生産・販売・企画等）人材の確保数（+2人） ④棚田米の販売量（直売）（+300kg）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/3/44236.html

申請者	山口県長門市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,850千円 (8,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	農業を起点とした事業構想を策定し、農業が地域産業として新たな価値を創造するために、地域資源を活用し地域事業者と連携する地域外企業、農業法人を誘致する戦略を策定する。 誘致企業と地元農業法人等が協働しながら、先端技術・ビジネスモデルを導入した有機農業の産地化、畜産×農業×エネルギーによる地域資源を活用した新たな事業創造、マーケットに合わせた施設園芸の集積など、農業の新たな価値を創造し、本市の農業を「若者に選ばれ」、「稼げる農業」として、持続可能な成長産業への転換を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間企業の視点を取り入れ、本市農業の課題や特徴の整理した農業振興の方向性についての事業構想を検討したうえで、戦略的な企業誘致を推進するための計画を策定する。策定するにあたって、事業構想実現に必要な機能やビジネスモデル、地元との連携を加味して誘致ターゲット候補を定め、候補先への初期打診を行いながら誘致戦略を策定する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○農業構想に基づく戦略的企業誘致実証委託料（R8） ・農業企業誘致に伴う委託料：8,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業企業の誘致件数（+3件） ②農業分野における新規雇用者数（+30人） ③農業算出額（+0.9億円） ④地元企業等とのマッチング企業数（25件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/3/44236.html

事業概要：満足度の高い「ながと時間」創出事業

継続

申請者	山口県長門市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,240,958千円 (867,483千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本市の強みである豊かな自然資本を最大限に活用したアウトドアツーリズムを通じて、満足度の高い“ながと時間”を創出し、「稼げる観光」を確立する。この取組の中核的な拠点施設を整備し、さらなる交流人口の拡大を図り、滞在時間の延長による宿泊者数の増加と観光消費額の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の観光資源である豊かな自然を活かしたアウトドアツーリズムを通じて、満足度の高い“ながと時間”を創出し、さらなる交流人口の拡大、滞在時間の延長及び観光消費額の向上を図るため、その中核的な拠点となる施設と多様なニーズに応えるユニットサイトとドギーサイトを備えるキャンプ場を新たに整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 情報発信事業：拠点施設をPRするための情報発信を実施 61,590千円 ・地域旅ブラッシュアップ推進事業：滞在時間の延長を目的として、本市ならではの体験商品の開発支援及びPR 1,270千円 ・デジタルマーケティング事業：デジタルコンテンツを活用した誘客促進、マーケティング 8,631千円 ○拠点整備事業経費 アウトドアツーリズム拠点施設（キャンプ場及びビジターセンター）を整備 ・建築物本体工事：新規整備 558,371千円 ・用地造成等工事：225,449千円 ・備品整備：アウトドアツーリズム用備品等 12,172千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①長門市内の年間観光消費額（+22,786百万円） ②長門市内宿泊施設の年間宿泊者数（+126,000人） ③長門市内の年間観光客数（+1,306,500人） ④ユニットキャンプ場の年間利用者数（+1,440人） ⑤ビジターセンターで提供する体験プログラム年間参加者数（+880人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/3/44236.html

事業概要：地域経済共創支援事業

新規

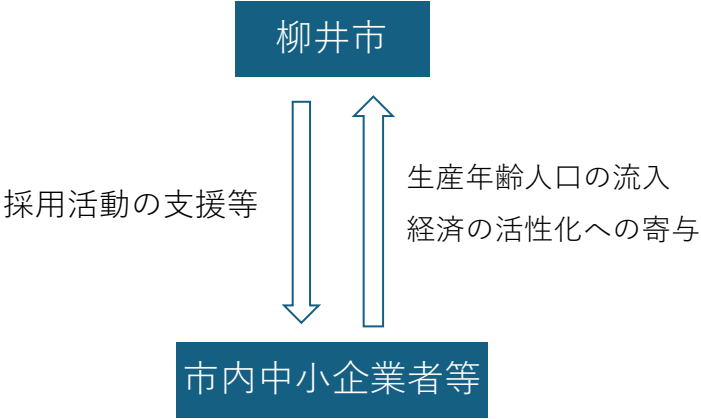
申請者	山口県長門市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	140,000千円 (45,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 地元企業のDX化に係るワンストップ窓口を設け、専門家による伴走支援体制を構築することで、地元企業の経営基盤を強化していくほか、AI技術を活用した新事業・新サービスの実証実装を支援することで、企業の生産性向上と競争力を高める。 ・ さらに、地域内外の多様な人材と地元企業を結ぶ人材確保・育成のプラットフォーム構築を推進し、人材を育成・定着させることで、地域の持続的な経済成長と企業の定着を実現し、地域経済の自立を促進させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地元企業に対し専門的支援を提供するワンストップ体制を構築し、AIなど先端技術を導入する新事業・新サービスの開発支援のほか、人材確保・育成のプラットフォームを構築する。					ワンストップ相談窓口 【専門的支援体制構築】 経営相談、専門家派遣、DX診断、AIマッチング等 【人材確保・育成のプラットフォーム】 地域内外から多様な人材を地元企業と繋ぐ 連携 ・ IT拠点施設 入居企業 ・ 金融機関 ・ 人材育成機関 ・ 地元高校等 経営課題等の相談 伴走支援 成長に向けたチャレンジ 意欲と行動力がある地元企業 支援 実証事業支援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ ワンストップ支援体制の構築業務（委託料） 15,000千円 （エコシステムコーディネーター配置、外部専門家の招へい） ・ 民間事業者による実証事業の支援（委託料） 20,000千円 ・ 人材確保・育成のプラットフォーム構築（委託料）10,000千円 （キャリア相談やメンターの派遣、ニーズ調査・周知用コンテンツ制作・セミナーの開催）						
主なKPI	① 市内企業におけるDX実装企業の割合（+22%） ② 新事業・新サービスの支援件数（+18件） ③ 課題解決に繋がった件数（+75件） ④ インターンシッププログラム参加者数（+150人）					URL	https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/3/44236.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：柳井市採用活動デジタル化促進事業

旧制度（推進）

申請者	山口県柳井市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	1,200千円 （400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	市内中小企業等の採用力を向上させるため、市内中小企業者等を対象に、各企業の採用活動のデジタル化（説明会等への参加・広告掲載・HP作成委託等）に係る経費を補助する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の地方創生の実現における構造的な課題を踏まえ、中小企業の採用活動のデジタル化を促進することで採用力の向上につなげ、人手不足の解消・改善を図るとともに、生産年齢人口の流入や地域経済の活性化を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 市内中小企業等の採用力を向上させるため、各企業の採用のデジタル化に係る経費を補助 400千円 ①民間の人材紹介会社や公的機関が主催するオンラインでの会社説明会や採用面接会への参加料 ②就職・転職情報サイトに採用情報を掲載するために必要な費用（基本料金、オプション料金等） ③採用に関するホームページの新規作成又は改修を外部に委託する費用		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+15人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-yanai.jp/

事業概要：大畠観光センターリニューアル拠点再編・情報発信強化事業

新規

申請者	山口県柳井市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	164,688千円 (18,059千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・周防大島の玄関口という立地特性を活かし、通過する来訪者の立ち寄りを促進することで、物販・飲食利用の拡大と地域経済への波及効果を創出する。 ・拠点施設の再編と地域資源や観光コンテンツの見える化により、来訪者の満足度向上や施設の魅力向上を図り、観光拠点機能の強化と地域経済の活性化を目指す。 ・デジタル技術を活用した情報発信機能の強化により、来訪者の利便性・回遊性・滞在性の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、分散配置された施設や土地を一体的に活用できるよう、拠点再編と動線の整備、外観等の更新を行い、施設全体の一体感、利便性及び安全性の向上、経済効果の創出を図るものである。 具体的には、トイレ棟の移転新築及びアクセス道の整備、旧トイレ解体後の店舗新設、施設の外観改修等を実施する。 また、デジタル技術を活用した情報発信拠点を整備し、主要な利用動線上にデジタルサイネージを設置することで、施設案内や店舗情報、観光情報等を視覚的かつ分かりやすく提供し、来訪者の回遊性及び滞在時間の向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物整備、外構及び設備整備等（測量設計業務） 18,059千円						
主なKPI	①観光センター利用者数（+10,000人） ②市内観光消費額（付加価値額の増加を含む）（+54,340円）					URL	https://www.city-yanai.jp/soshiki/15/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,044千円 (13,444千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の課題解決を推進する若年層を中心とした地域の担い手を育成すること ・ラーニングスペースの創出を通じた、市内からの担い手確保の促進を図る ・関係人口コミュニティの構築や地域留学プログラムを実施することで、市外からの担い手確保の促進を図る ・結果、美祢市に残り続けたい/戻ってきたい人の流れを創出し、主課題である若年層の人口流出抑制を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 さらなる事業促進化を実現するため、ラーニングスペースにおいて対外へのPR強化や実店舗販売への挑戦などの促進と関係人口コミュニティの自走化に向けた登録メンバーによる自主企画の実施 ・これまでアウトプットしてきたものを市内に留めるのではなく、PR強化を通じて市外県外へと発信し、より実社会との繋がりを創出する。 ・3年目では、より対外へのアプローチを強化していく上で必須になるWEBプロモーションスキル習得のためのプログラムを実施する。 ・引き続き地域おこし協力隊制度を活用し、ラーニングスペース運営スタッフが推進。 ・2年目の地域留学プログラム実施を通しての課題を整理すると共に、関係人口コミュニティの登録メンバーが企画側に周り、よりUIターンを促進するための自主企画の推進を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ラーニングスペース運営業務 予算額：10,444千円（委託費） 関係人口創出支援業務 予算額：3,000千円（委託費）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+10人） ②市内の高校に通う高校生の市内就職率（+12%） ③ラーニングスペース利用者（高校生）や大学生、若手社会人と市内事業所との交流人数（+120人） ④関係人口コミュニティの登録者数（+50人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www2.city.mine.lg.jp/gyosei/shingikai/sogokeikaku/index.html

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,100千円 (7,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・山口デスティネーションキャンペーンの実施時期に合わせ、主要駅や観光拠点における広告展開及びSNS等のデジタル媒体を活用した戦略的情報発信を行い、認知度向上と購買行動の喚起を一体的に推進することで、地域製品の市場浸透を図る。 ・主要駅構内店舗、宿泊施設、観光関連施設、ECモール等における商品展示・販売機会を計画的に創出し、継続的な取引関係の構築を通じて、事業者の商品出荷額及び販売単価の向上を目指す。 ・デスティネーションキャンペーン終了後においても、参加事業者間の情報共有体制及び共同プロモーションの仕組みを構築し、販路開拓活動を自走化・継続化することで、安定的な販売拡大につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 前年度に開発した商品をDCが本格的に始まる10月に向けて、購買確率を上げるためのメディアやSNSを通じた情報発信を行い、駅構内店舗、宿泊施設における露出の増加をはかりながら、イベント販売を通じて売上の拡大をはかる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・事業にかかる専門家による伴走支援（委託料）7,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規の土産商品売上高（+2.72億円） ②市外・県外での新規販路開拓数（+10店舗） ③来訪者意識・動態調査におけるお土産品の満足度評価（+5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www2.city.mine.lg.jp/gyosei/shingikai/sogokeikaku/index.html

事業概要：厚保くりYAMAMORIプロジェクト

継続

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	94,607千円 (33,752千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	特産品である「厚保くり」について、スマート農業導入による作業合理化・省力栽培、人材確保等による生産性の向上による生産供給体制の確保、農業従事者の事業継続・事業承継の取組、高付加価値の加工品の創出に取り組み、市場価値を向上させることより、「厚保くり」の産出額増加を目指し、地域の稼ぐ力を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2年度目の取組として、初年度の取組時に生じた生産量の増大の阻害要因を把握、改善を行う。また、生産者を対象としたスマート農業技術導入の助成や初年度にて把握した市場マーケティング調査を基に県内外における生産者所得の向上を目的に厚保くりのブランドの確立と形成を訴えるツール（過去の産地の歴史や成分分析結果を記載したパンフレット、動画制作等）を作成する。また、事業終了後の活動を継続するために地域リーダーの発掘と組織組成の検討啓発を並行して行う。販路開拓については山口県で行われる誘客イベントを機会としたバイヤーとの商談を試みる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート農業技術の実証実験（委託料）：5,328千円 ・組織の事業計画策定業務、実証実験時の支援業務、現地調査業務（委託料）：2,922千円 ・協議会が行う厚保くり農作業ワークショップ費用に対する補助（補助金）：5,466千円 ・協議会が選定した実証実験を行う圃場に対する土壌分析及び土壌改良業務に対する補助（補助金）：3,873千円 ・協議会が選定した実証実験を行う圃場に対する鳥獣被害対策業務に対する補助（補助金）：1,980千円 ・市場調査、ブランディング事業及び販路開拓支援業務の委託（委託料）：6,325千円 ・協議会が主体となった鳥獣被害対策の専門家への報償費及び旅費支払（補助金）：123千円 ・パッケージ商品開発業務の委託（委託料）：990千円 ・協議会が主体となった厚保くりを加工した県内事業者向けの試食会の開催業務委託（委託料）：1,080千円 ・協議会運営支援業務の委託（委託料）：3,086千円 ・急坂に対応した登攀性の高い農業器具及び高付加価値化のための共同利用型の栗剥き機の購入費用に対する補助（補助金）：2,579千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①厚保くり販売金額（＋15,000千円） ②厚保くり生産部会の新規加入者数（＋6人） ③くりの新規加工商品売上高（＋7,000千円） ④スマート農業導入による農作業削減率（除草、防除、収穫。10aあたり）（＋30%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www2.city.mine.lg.jp/gyosei/s hingikai/sogokeikaku/index.html

事業概要：繋げ広げる！みらい×そうぞう×まちづくりプロジェクト

新規

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	124,037千円 (32,079千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少によりさまざまな課題が生じる中、行政だけでなく美祢市の各地域や事業者も主体となり、それぞれが生活する地域を魅力的に、そして元気にし、それを郵便局や医療機関、交通機関等と連携したネットワーク網でつなげる。そうすることで、美祢市らしい魅力向上と生活の利便性の確保、そして地域内での地場産業の再活性化からの経済循環を生み出し、地域で稼ぎ、守り、そして関係人口の増加・定住人口の安定を実現した、持続可能で生涯安心して生活できるまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少が進む中、そこから生じる重要かつ多様な課題に取り組むためには、市民や市内事業者も本市の置かれた状況を客観的に把握した上で、地域課題に取り組むとともに、地域をつなげ、稼ぐ力の獲得をはじめとした自立の後押しを行う必要がある。そこで、地域が連携し課題に取り組む体制の構築を支援する。また、それら地域主体で取り組みが相乗効果を生み出すとともに、各地域に不足する生活サービスを補うため、郵便局等にコミュニティハブを形成し、交通やデジタル技術によるネットワークを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・美祢市地区別人口推計及び分析委託(委託費)：650千円 ・地域運営組織の活動等による地域活性化人材のマッチング及び広報委託事業(委託費)：14,200千円 ・産業・地域関係強化促進事業（委託費）：4,500千円 ・郵便局のコミュニティハブ化に向けた体制構築委託(委託費)：2,000千円 ・地域運営組織等の自立に向けた収益事業確立のための経費支援補助金（補助金）：6,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の関係人口の増加数（+1,000人） ②地域課題解決に取り組むための運営主体設立数（活動範囲：原則公民館単位以上）（+8団体） ③自立支援による地域主体の収益源確保数（+9件） ④生活サービスへの新規アクセス環境構築数（+11地区）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www2.city.mine.lg.jp/gyosei/koryu/hoshin/senryaku/2506.htm

事業概要： Mine秋吉台ジオパークを軸とした保全と活用の循環型まちづくりプロジェクト

新規

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	595,475千円 (330,873千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・Mine秋吉台ジオパークがユネスコ世界ジオパークへと認定されることを契機として、国定公園である「秋吉台」をはじめとした多くの資源の新たな活用・価値の獲得や地域経済への影響拡大に取り組む。その結果を保全活動へと還元し、保全と活用の循環を図ることで、人口減少が進む中生じる多くの地域課題を解決するための人的資源や経済的資源の獲得し、太古から続く美祢市の魅力を未来の子ども達へつなげる持続可能なまちづくりを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 Mine秋吉台ジオパークのユネスコ世界ジオパークとしての観点及び立ち位置を踏まえ、高齢者や子ども、障害者、インバウンドをはじめとした幅広い人々による新たな活用を促進するとともに、担い手を育成・確保する。また、新たな観点からのMine秋吉台ジオパークの魅力を生み出し価値の向上を図り、あわせて、活用のための官民協働での施設整備を行うことで、受け入れ環境を向上させる。それらの活用等を通して得られる収益や担い手による保全を推進することで、更なる活用の拡大も図り、保全と活用の循環を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・Mine秋吉台ジオパークの担い手育成・確保事業 福祉、文化、スポーツ等の他分野と連動したジオパークの「保全」に向けた啓発活動（委託費）3,934千円 ・Mine秋吉台ジオパークの活用促進事業 ユネスコ世界ジオパーク承認を契機とした新たな誘客促進事業（委託費）15,130千円 ・Mine秋吉台ジオパークの魅力伝播確保事業 ユネスコ世界ジオパーク認定を記念した理解促進事業(委託費)10,402千円 秋吉台エリア体験型施設環境整備支援事業（補助金）100,000千円 ○拠点整備事業 秋吉台カルスト展望台受け入れ機能強化事業（改修工事費）143,110千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①美祢市への観光交流人口（+600千人） ②美祢市における一人当たりの観光消費額（+1,100円） ③Mine秋吉台ジオパークパートナー事業者登録者数（累計）（+6団体） ④新規ジオガイド登録者数（累計）（+12人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【美祢市】 https://www2.city.mine.lg.jp/gyosei/shingikai/sogokeikaku/index.html 【Mine秋吉台ジオパーク】 https://mine-geo.com/

申請者	山口県周南市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (200千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・文化会館を改修し、経済的価値及び社会的価値を高め、「地域活性化のエンジン」として、直接的な経済効果の創出、間接的な産業振興、イメージ向上を図る。 ・文化会館を拠点として、文化芸術を観光、産業、国際交流などと繋げるとともに、部活動の地域展開を推進するなどして、地域の魅力や価値を高め、活力のあるまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまで40年以上にわたって市民に愛され、西日本を代表するホールとして多くのアーティストや観覧者と共に文化のまちづくりを育んできた文化会館について、電動化等、最新技術を導入した舞台機構及び設備改修によるイベント誘致力の向上や、客席の機能強化、ユニバーサルデザインを取り入れた館内壁床の改修等による誘客力の向上や客層の拡大により、質の高い舞台芸術鑑賞の提供と文化会館を起因とする観光消費額の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・舞台機構及び設備改修等のための仮設工事 200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①周南市文化会館利用者による年間観光消費額（+3億498万円） ②周南市文化会館年間利用者数（+55,000人） ③周南市文化会館の全体施設利用状況（+10%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年2月公表予定

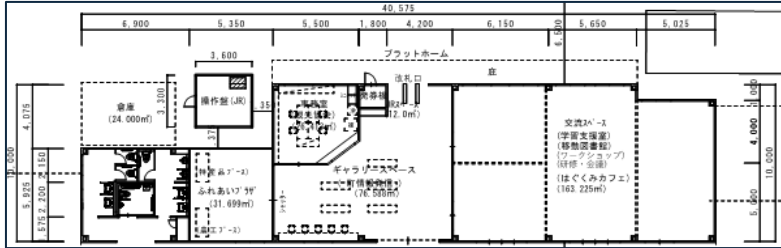
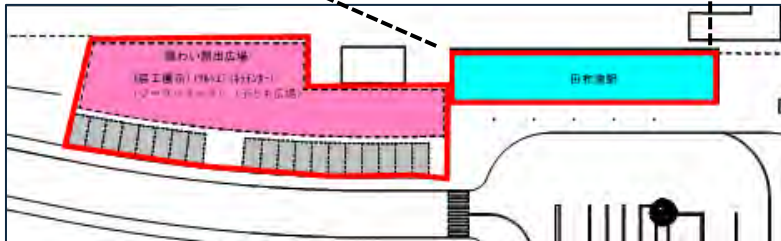
事業概要：きらら交流館再整備事業

継続

申請者	山口県山陽小野田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,560,072千円 (555,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市内に所在する宿泊研修施設「きらら交流館」を改修し、道の駅の業態をビジネスモデルとした「海辺の駅 そらうみ」としてリニューアルすることにより、交流人口、関係人口の増加、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○観光交流拠点「海辺の駅 そらうみ」の開館に向け、物販店舗、カフェ・レストラン、キッズラウンジコーナー、温浴施設、マルチスタジオ、遊具等の整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 (模様替) ・建築物本体工事 227,557千円 ・建築物と不可分な設備工事 233,728千円 (増築) ・建築物本体工事 80,515千円 (設備整備) ・外構工事 13,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①一人当たりの平均観光消費額 (+1,020円) ②新施設の売上 (+62,357千円) ③本市への観光入込客数 (+142,000人) ④新施設の利用者数 (+82,036人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：田布施交流拠点施設（合築駅舎）及び周辺整備事業

新規

申請者	山口県田布施町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	441,176千円 (54,820千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・新たに交流拠点施設を整備することにより、若い世代が安心して働き、結婚・出産・子育てがしやすい環境を提供する。 ・住民同士のつながりと交流を深め、地域コミュニティを育む町の実現をめざす。 ・地域資源を最大限活用し、異なる分野の要素を組み合わせる「新結合」により、付加価値を生み出していく環境づくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 無人駅となっている田布施駅を地域交流拠点施設として整備することにより、地域イベント等の開催や高校生等による産直スペース、コミュニティカフェ、さらには広域の様々なワークショップの展開など、多世代交流や経済効果の創出が図られ、ひいては交流人口・関係人口の創出にも寄与できる。 ・地域運営組織の活動拠点を整備することで、積極的な地域活動の展開が期待されるとともに、地域住民の参画を促す仕組みを整え持続可能な地域運営体制の構築が図られる ・高校生や社会人など、通過点として利用していた駅を新たにイベント参加や学習支援室利用により滞留する状況を創出し、鉄道利用者以外もワークショップ等への参加により集う場として機能させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・にぎわい創出広場 基本設計／測量等：54,820千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口ビジョンにおける将来展望人口の達成：（+179件） ②運営母体への参画主体数：（+10団体） ③ワークショップ等のイベント回数：（+120回） ④労働力人口比率：（+6%） ⑤交流施設利用者数：（+2400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：無角和種を軸としたシティブランディング推進事業

継続

申請者	山口県阿武町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	205,504千円 (69,446千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	阿武町の特産品である無角和種を最大限活用したシティブランディング（名産地化）を実施し、ほか農林水産物消費拡大及び観光拡大による貨幣流入を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・無角和種を地域内飼料で持続的に生産できる体制を構築し、生産方法や肉質を理解・評価した上でハブとなる流通事業者・飲食店とネットワークを築くことで、持続的な生産・流通体制を確立し、無角和種を循環型の町づくりの象徴とする。それにより町の認知度・訪問者数・貨幣流入（地元産業の売上増）を促し、住民の所得改善や所得の分配による雇用創出に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○プロジェクト推進中核組織化事業 ・事業推進・コーディネート業務（委託料）24,686千円 ・事業推進協議会の運営業務（委託料）2,424千円 ○生産試験事業 ・草地利用計画・試験（委託料）19,515千円 ・研修（委託料）1,243千円 ○テストマーケティング事業 ・流通テストマーケティング（委託料）8,452千円 ・町内飲食店テストマーケティング（委託料）5,668千円 ・端材利用開発・テストマーケティング（委託料）1,243千円 ・PR事務局設置（委託料）3,729千円 ○ハード事業 ・牛舎の基本設計（委託料）2,486千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅売上額（+20,110千円） ②無角和種流通額（+15,840千円） ③イノベーター数（+60人） ④無角ツアー参加者数（+210人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.abu.lg.jp/

事業概要：阿武町地域魅力向上地方創生事業

継続

申請者	山口県阿武町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	396,130千円 (360,910千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	多目的に利用可能な文化スポーツ施設を整備し阿武町が魅力あるまちであることを伝える交流拠点とする。 スポーツやレクリエーション等を推進することで、町民一人ひとりの健康づくり、体力づくりはもちろん、生きがいづくりや世代を超えた仲間づくりなど地域コミュニティの活性化に寄与する。 拠点を中心とした地域の交流人口を増やし、関係人口、定住人口の獲得、地域の活力を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧温水プール施設を多目的に利用可能な全天候型の運動施設へと改修し用途変更を行う。 地域に適した施設機能の設定、施設活用を想定した町の魅力となるコンテンツ造成をサポートし、磨き上げを行っていく。年間を通じて開催可能な集客イベントや講座のブラッシュアップや、地域外の専門人材や団体を招致し継続的にプログラム開発を行い、試行しながらアンケート等効果検証も実施しコンテンツの磨き上げを実施し、子育て、教育、福祉団体等とも連携し、地域住民の参画も促していく。また、施設オープン前からSNS等を活用した情報発信も戦略的に実施していくことで認知度を向上していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域魅力向上サポート事業コーディネート（委託料）3,080千円 ・コンテンツ調査分析・試行（委託料）5,060千円 ・プロモーション（委託料）1,760千円 ・事業分析（委託料）880千円 ・多目的運動施設備品購入（備品購入費）22,000千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 多目的運動施設整備 318,230千円 ・施工監理 多目的運動施設整備（委託料）9,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（+7人） ②活動人口数（+11,250人） ③道の駅の売上額（+3,573万円） ④コンテンツの参加者数（+3,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.abu.lg.jp/